

意ノ場合ト善意ノ場合トヲ區別シタルハ斯ル差異アルカ爲メナリ

第二、買主ハ廢却訴權ヲ行フヲ得サルモ損害ノ賠償トシテ代價ノ減少ヲ求ムルコトヲ得ル場合ニ付テ論述ス可シ

如何ナル場合ニ此訴權ヲ行フコトヲ得ルヤト云フニ(第一)隠レタル瑕瑾カ廢却訴權ヲ行フ程ニ重大ナラサルトキ(第二)買主自ラ好シテ廢却訴權ヲ行ハサルトキ(第三)隠レタル瑕瑾カ修繕スルヲ得ルトキノ三場合ナリトス即チ是等ノ場合ニ於テハ賣買ヲ消滅スルコトナクシテ單ニ瑕瑾ノ補償トシテ代價ノ減少ヲ求ムルヲ得ルモノトス

買主カ買受ケタル物ヲ他ニ賣却シタルカ又ハ讓渡シタルカ又ハ意外ノ事變若クハ不可抗力ニ依リテ消滅セシメタルトキハ廢却訴權ヲ行フコトヲ得ス何トナレハ既ニ目的物ニシテ消滅シタル以上ハ最早賣買成立セサリシ以前ノ狀況ニ回復スルコトヲ得サレハナリ然レトモ代價減少ノ訴權ニ至リテハ尙ホ之ヲ行フコトヲ得可シ何トナレハ此訴權タル賣買ノ成立ヲ取消スルモノニアラス只タ損害ノ要償トシテ對人的ノ關係ヲ有スルニ過キサレハナリ而シテ我既成民法ハ買主カ

買受ケタル物ヲ無償ニテ讓渡シタル場合ト有償ニテ讓渡シタル場合トヲ區別シ前者ノ場合ニ於テハ買主ハ常ニ代價減少ノ訴權ヲ行フコトヲ得ルモ後者ノ場合ニ於テハ買主カ其瑕瑾ノ爲メ實際損害ヲ蒙リタルカ又ハ讓受人ヨリ訴ヘラル、カ又ハ訴ヘラル、恐レアルトキニアラサレハ代價減少ノ訴權ヲ行フヲ得スト規定シタリ今其理由トスル所ヲ聞クニ曰ク無償讓渡ノ場合ニ於テハ贈與者ハ受贈者ニ其物カ無瑕ナリシトキノ如キ恩惠ヲ與フルコトヲ得ス故ニ買主ハ瑕瑾ノ爲メ損害ヲ蒙ムルモノナレハ常ニ代價減少ノ訴權ヲ行フコトヲ得ルナリ之ニ反シテ有償讓渡ノ場合ニ於テハ買主ハ自カラ買受ケタル代價ニ相當スル報酬ヲ得クモノナレハ毫末ノ損害アルコトナシ從ツテ讓受人ヨリ訴ヘラル、カ又ハ訴ヘラル、恐レアルトキニアラサレハ損害ヲ蒙リタリト云フ可カラス是レ代價減少ノ請求ヲ爲シ得サル所以ナリト余ハ之ヲ聞キ了リテ呆然タラサルヲ得ス夫レ擔保ナルモノハ對人的ノ問題ニアラスヤ買主カ之ヲ讓渡スルト將タ讓渡セサルトニ何ノ關係カアラン況ンヤ無償ナルト有償ナルトニ依リテ區別ヲ設クルニ於テオヤ理由ノ理由タラサル復タ多言ヲ要セサルナリ是ヲ以テ歐米諸國ノ法律ヲ看ル

賣買法 賣買契約ノ効力 買主ノ義務 擔保ノ義務 法律上ノ擔保 瑕疵擔保



ニ我民法ノ如キ區別ヲ設クルモノ一モ之レ有ルコトナシ蓋シ諸國ノ法律ハ區別ヲ設クルコトヲ知ラサルモノニアラス又區別ヲ以テ欠典ト云フニアラス乍左我民法ノ如キハ却テ詳細ニ失シ法理ノ正ヲ得タルモノニアラサルノ非難ヲ免カル能ハサル可シ

尙ホ進ンテ代價減少訴權ノ効力ニ付テ述ヘンニ是レ亦賣主カ初メヨリ瑕疵アルコトヲ知リツ、賣買シタル場合ト之ヲ知ラスシテ賣買シタル場合トニ依リテ區別アリ即チ賣主ニ惡意アリタル場合ニハ買主ハ瑕疵ノ爲メニ收益ヲ失ヒタル限度ニ應シテ代價ノ減少ヲ求ムルコトヲ得ルノ外其瑕疵ノ爲メニ受ケタル損害及ヒ失ヒタル利益ノ賠償ヲ請求スルコトヲ得可シ然レトモ賣主善意ナルトキハ單ニ收益ヲ失ヒタル限度ニ應シテ代價ノ減少ヲ求ムルヲ得ルニ止マリ其他ニ請求權アルコトナシ

上來論述セル所ヲ約言スレハ賣主カ隠レタル瑕疵ニ付キテ擔保義務ヲ破リタルトキハ買主ハ賣買廢却訴權又ハ代價減少訴權ヲ行フコトヲ得可シ若シ賣主惡意アルトキハ更ニ普通ノ損害賠償權ヲ行フコトヲ得可シト云フニ在リ而シテ買主

カ是等ノ訴權ヲ行フニ付キ法律ハ財産ノ種類ニ從ヒテ其期間ヲ定メタリ即チ

- (一) 不動産ハ六ヶ月
- (二) 動産ハ三ヶ月
- (三) 動物ハ一ヶ月

是ナリ而シテ此期間ハ物品引渡ノトキヨリ起算ス可キモノトセリ蓋シ訴權ノ執行ニ付テ何等ノ期間ヲモ設ケサルトキハ賣買ハ永遠ニ不確實ノモノトナリ其結果ハ一般ノ經濟上ニ不利益ヲ來タスノミナラス時日ノ經過ト共ニ證據ハ漸々消滅ニ歸ス可キヲ以テ後日ニ至リ裁判沙汰トナルモ證明スルヲ得サルノ恐レナキヲ得サルヲ以テ公益上ノ理由ヨリ斯クハ期間ヲ設ケタルモノナラン又財産ノ種類ニ依リ期間ニ區別ヲ設ケタルハ一ハ隠レタル瑕疵ヲ發見スルノ困難ナルト將タ容易ナルト一ハ引渡後ニ生シタル瑕疵ト其前ニ生シタル瑕疵トヲ區別スルノ難易ニ依リタルモノナラン例ヘハ動物ノ如キハ引渡後ニ瑕疵ヲ生スルコトナシトセス而シテ其瑕疵ハ引渡以前ヨリ生シタルモノナルヤ將タ其以後ニ生シタルモノナルヤ之ヲ辨別スルコト容易ナラサルモノナキニアラス故ニ法律ハ其期限



ナ最モ短シシタリ又瑕瑾ノ有無ハ素ヨリ買主カ其物ノ占有ヲ得テ之ヲ點檢シタル後ニアラサレハ之ヲ知ルコト能ハサルヲ以テ法律ハ買主カ占有ヲ得タルトキヨリ期間ヲ起算ス可キモノト爲シタリ去レハ此期間ナルモノハ要スルニ一ニハ買主カ瑕瑾ノ有無ヲ知ルト二ニハ訴訟ヲ提起スルノ期間ナリト云フコトヲ得可シ故ニ若シ買主カ瑕瑾ヲ知リタルトキハ其之ヲ知リタル日ヨリ期間ヲ半ハニ短縮ス可キモノトセリ例ヘハ動物ハ通例一ヶ月ノ期間ナルモ若シ占有ヲ得タル日ヨリ五日目ニ瑕瑾アルコトヲ發見シタルトキハ其發見シタルトキヨリ期間ヲ半ハニ短縮スト云フニアルヲ以テ要スルニ買主ハ二十日目マテニ訴權ヲ行ハサル可カラズ然レトモ既ニ半ハ以上ヲ經過シタルトキ例ヘハ二十日目又ハ二十五日目ニ瑕瑾ヲ發見シタルトキハ素ヨリ之ヲ短縮スルノ理ナシ故ニ買主ハ殘留ノ期間内ニ訴ヲ起サ、ル可カラズ

斯ノ如ク買主カ早ク瑕瑾ヲ知リタルトキハ期間ヲ短縮スル以上ハ又特別ノ理由アリテ期間内ニ之ヲ發見スルコトヲ得サルトキハ特別ノ期間ヲ設クルヲ至當トス我既成民法ハ買主カ意外ノコト又ハ不可抗力ニ依リテ期間内ニ隱レタル瑕瑾

特約上ノ擔保

ヲ發見スルコトヲ得サリシコトヲ證明シタルトキハ期間後ト雖モ訴權ヲ行フコトヲ得即チ意外ノ事變又ハ不可抗力ノ止ミタルトキヨリ通常期間ノ三分ノ一ヲ以テ新期間ト爲ス可キモノトセリ例ヘハ動産ヲ買取リタルニ間モナク竊盜ノ爲メニ竊取セラレタルカ如キ又ハ不動産ヲ買取リタルニ間モナク戰爭起リテ之ヲ點檢スルコトヲ得サリシトキノ如シ斯ノ如キ場合ニ於テハ其事變又ハ不可抗力ノ止ミタルトキヨリ通常期間ノ三分ノ一ヲ以テ新期間ナリトス

第三項 特約上ノ擔保

擔保ハ前既ニ講述セル如ク賣買成立ノ要素ニアラス去レハ擔保ノ特約ナクトモ賣買完全ニ成立スルハ勿論更ニ特約ヲ以テ擔保ヲ增加スルヲ得可ク若クハ減少スルヲ得可ク又ハ變更消滅スルコトヲ得可シ唯茲ニ一ノ例外アリ他ナシ賣主自ラ追奪ノ原因ヲ作爲セルトキハ縱令擔保セストノ特約ヲ締結スルトモ其特約ハ無効ナリトス例ヘハ甲ナル賣主一ノ動産物ヲ乙者ニ賣渡シ無擔保ノ特約ヲ爲シ其後同一物ヲ丙者ニ賣渡シ其占有ヲ引渡シタルトキハ甲者ハ無擔保ノ特約ヲ爲シタルニ拘ハラズ尙ホ乙者ニ對シテ損害賠償ノ責任ヲ免ル、コトヲ得サルカ如



キ是ナリ右ハ賣買後ニ追奪ノ原因ヲ作リタル場合ナルカ其以前ニ原因ヲ作リタルトキモ是ト異ナルコトナシ例ハ既ニ他人ニ賣渡シタル物ヲ再ヒ乙者ニ賣渡シ而シテ無擔保ノ特約ヲ取結ヒタルカ如キ尙ホ賣主ハ乙者ニ對シテ擔保ノ責任ヲ免ル、能ハサルナリ之ヲ要スルニ賣買ノ前後ニ拘ハラズ自ラ追奪ノ原因ヲ作リタルトキハ賣主ハ擔保ノ責任ヲ免ル、コトヲ得サルナリ羅馬法ニ一ノ格言アリ曰ク義務アル者ハタトヘ特約ヲ以テ擔保ノ責任ヲ免ル、ト雖モ自ラ追奪ノ原因ヲ作ルコトヲ得スト我民法ハ此原則ヲ採用シタルモノナル可シ

次ニ考究ス可キハ無擔保ノ特約ヲ取結フモ買主カ追奪ヲ受ケタルトキハ賣主ハ代金ヲ返還セサル可カラストノコト是レナリ蓋シ擔保ハ主タル賣買ニ附從スル約束ナレハ若シ主タル賣買ニシテ成立セサルカ若クハ消滅ニ歸シタルトキハ擔保ノ約束モ亦從ツテ消滅ニ歸セサルヲ得ス今夫レ目的物ニシテ第三者ノ爲メニ追奪セラレシカ賣買其者ハ既ニ消滅ニ歸シタルモノナリ賣買ニシテ既ニ消滅セシカ從タル擔保ノ効力モ亦消滅ス可シ是ヲ以テ賣主ニシテ代金ヲ獲得センカ所得不當ノ利得ト謂ハサルヲ得ス是レ賣主カ買主ニ代金ヲ返還セサル可カラサル

所以ナリ然レトモ當事者ノ意思ニシテ縱令追奪ヲ受クルトモ代金ハ返還セサルモノナルコトヲ推測シ得ル場合ニ於テハ素ヨリ此原則ノ例外ナリトス而シテ我民法取得編ハ第七十一條ニ於テ之ヲ規定シタリ即チ

(第一) 買主カ賣買ノ當時ニ於テ追奪ノ危險アルコトヲ知リタル場合

(第二) 買主カ危險ヲ負擔スルノ意ヲ以テ賣買ヲ取結ヒタルトキ

是レナリ此二個ノ場合ニ於テハ當ニ無擔保ノ特約ヲ取結ヒタルノミナラス他人ノ爲メニ目的物カ追奪セラルトモ代金ハ返還セスシテ凡テ危險ハ買主カ負擔スルノ意思ヲ以テ取結ヒタルモノト認ムルヲ以テ賣主ハ代金ヲ返還スルノ義務ナキヤ勿論ナリ

### 第三章 買主ノ義務

#### 買主ノ義務

買主ノ義務ハ別チテ二トス即チ(一)代金ヲ辨濟スルノ義務(二)買取物ヲ引受クルノ義務是レナリ

#### 代金辨濟ノ義務

##### 第一節 代金辨濟ノ義務

代金辨濟ノ義務ヲ講スルニハ(一)辨濟ノ時期(二)辨濟ノ場所(三)代金ノ利子ノ三個ニ

買賣法 買賣契約ノ効力 買主ノ義務 代金辨濟ノ義務



## 期辨濟ノ時

區別スルヲ要ス左ニ之ヲ分説ス可シ

## 第一款 辨濟ノ時期

買主ハ代金辨濟ノ時期ニ付キ明示若クハ默示ノ合意ヲ爲シタルトキニハ必スヤ其時期ニ於テ代金ヲ辨濟セサル可カラス若シ其時期ニ付キ特別ノ合意ナキトキハ目的物ノ引渡ヲ受クルト同時ニ之ヲ辨濟セサル可カラス何トナレハ目的物ノ引渡ト代金ノ辨濟トハ相互ニ同時條件トナルモノナレハナリ次ニ目的物ノ引渡ヲ後日ニ延ヘタルトキハ代金ノ辨濟モ亦之ヲ後日ニ延ハシタルモノト推測ス可キモノトス故ニ此ノ場合ニ於テハ引渡ト同時ニ代金ヲ支拂ハサル可カラス然レトモ是レ素ヨリ一應ノ推測ニ止マレハ若シ特別ナル約束アルトキハ格別ナルヤ勿論ナリ

茲ニ注意ス可キコトアリ何ソヤ他ナシ目的物引渡ノ時期ヲ後日ニ延フルトキハ代金辨濟ノ日モ亦後日ニ延ヘタルモノトスルモ代金辨濟ノ日ヲ後日ニ延ハスモ目的物ノ引渡ハ後日ニ延ハシタルモノト看做サ、ルコト是レナリ何故ニ二者ノ間ニ斯ノ如キ區別ヲ設ケタルヤト云フニ是レニ二個ノ理由アリ第一ノ理由ハ賣

主ハ代金辨濟ノ爲メニ期日ヲ與ヘ而シテ其以前ニ於テ目的物ヲ引渡スモ毫モ損害ヲ蒙ルコトナシ何トナレハ賣主ハ若シ其目的物ニシテ定期ノ利益ヲ生スルトキハ代金ノ利子ヲ請求スルコトヲ得可ク又目的物ニ對シテ先取特權アリ又賣買ヲ解除スルノ權ヲ有シ只ク失フ所ハ留置權ノ一ニ過キサレハ十分救濟ノ途アレハナリ之ニ反シテ買主ハ目的物ノ引渡ヲ得サルニ先ク其代金ヲ支拂ヒタルトキハ別ニ之ニ對スル特別ナル救濟ノ途アルコトナシ特ニ賣主カ其物ヲ更ニ第三者ニ賣渡シタル後チ無資力ト爲ルカ如キコトアラハ買主ハ全ク代金ヲシテ損失ニ歸セシメサルヲ得サルノ危險アリ斯ノ如ク賣主ト買主トハ地位ニ於テ非常ニ危險ノ相違アリ是レ二者ノ間ニ區別アル所以ナリ第二ノ理由ハ元來代金ノ辨濟ハ所有權ノ移轉及目的物ノ引渡トニ恰當スルモノナリ故ニ目的物ノ引渡ヲ延ヘタルトキハ辨濟ヲモ延ヘタルモノト認ムルコトヲ得ルモ既ニ所有權ヲ移轉セシ以上ハ其結果トシテ賣主ハ占有ヲ引渡サ、ル可カラサルノ義務アリ從フテ代金ノ辨濟ニ付キテ猶豫スルモ此ノ一事ノミナリテ引渡ヲモ猶豫シタルモノト認ムルコトヲ得ス是レ二者ノ間ニ區別アル第二ノ理由ナリ是ヲ以テ何レ邦ノ法律



ニ於テモ代金支拂ニ付キテ期間ヲ設クルモ引渡ノ期間ニ付キテモ延期シタルモノトハ見做サ、ルナリ

乍併茲ニ裁判所カ職權ニ依リテ義務ノ履行ニ付キテ即チ賣買ニ付キテ之ヲ言ヘハ目的物ノ引渡又ハ代金ノ辨濟ニ付キテ相當ノ期間ヲ與フルコトアリ法文ニ所謂恩惠期日ナルモノ是レナリ是レ全ク當事者ノ意思ニ依ラス裁判所ノ職權ニ依リテ與フルモノナレハ其目的物ノ性質ニ依リテ期間ニ長短ナキヲ得サルモ要スルニ當事者雙方ニ平等ナル權衡ヲ得セシメサル可カラズ從ツテ目的物引渡ノ恩惠期限ハ代金辨濟ノ恩惠期限ヲ惹起シ代金辨濟ノ恩惠期限ハ亦當然目的物引渡ノ恩惠期限ヲ惹起スモノトス即チ此場合ニ於テハ一方ニ期限ヲ與フルトキハ當然他ノ一方ノ期限ヲ惹起スルモノトス

買主ハ物上訴權ニ依リテ妨害ヲ受ケタルトキ若シハ之ヲ受クル恐アル正當ノ事由存在スルトキハ賣主カ此妨害又ハ危險ヲ止ムルマテ代金ノ辨濟ヲ拒ムコトヲ得又既ニ追奪セラレタルトキニハ賣主カ代金ヲ返還スル爲メニ十分ナル保證ヲ立ツルマテ代金ノ辨濟ヲ拒ムコトヲ得ルナリ而シテ茲ニ所謂物上訴權ニ依リテ妨害

害ヲ受クルトハ管ニ所有權ノミナ云フニアラスシテ地役權收益權使用權ノ如キ所謂所有權ノ支分權ヲモ含蓄スルモノナリ然リ而シテ此場合ニ於テ買主カ代金ノ辨濟ヲ拒ミ得ルハ必スシモ其全部ニ非スシテ其訴權ノ輕重ニ從ヒテ全部若クハ一部ヲ拒ミ得ルニ過キス換言セハ訴權ノ實行ヨリ生スル所ノ損失部分ニ對スル代金ノ額ニ限り之ヲ支拂フコトヲ拒ミ得ルナリ例ヘハ一個ノ物ヲ賣買セル場合ニ第三者アリテ其所有權ヲ爭ヒテ物上訴訟ヲ起シタルトキハ其訴權ヨリ生スル所ノ損害ハ代金ノ全部ニ涉ルヲ以テ此時ニハ代金ノ全部ノ支拂ヲ拒絕スルコトヲ得ルカ如キ是レナリ

次ニ買主ハ其買受クル不動産ニ付テ抵當權又ハ先取特權ノ登記アリタルトキニハ債權擔保編ニ規定セル滌除ノ方法ト其期間ニ從ヒテ代金ヲ賣主ニ支拂スシテ賣主ノ債權者ニ之ヲ支拂ヒテ其抵當權若クハ先取特權ヲ滌除スルコトヲ得而シテ此場合ニ於テハ買主ハ滌除ノ方式ヲ盡シタル後ニ非サレハ賣主ニ對シ代金ヲ支拂フノ義務ナシ然レトモ若シ抵當權若クハ先取特權ヲ附從ノマ、ニテ買受ケタルトキニ於テハ素ヨリ例外ナルヲ以テ滌除ノ方式ヲ行ハストノ理由ヲ以テ代



金ノ支拂ヲ拒絶スルコトヲ得ス乍併若シ是ニ付キテ何等ノ制限ヲ設ケサルトキハ買主ハ抵當若シハ先取特權ノ存在セルコトヲ口實トシテ代金ノ辨濟ヲ拒ムコトアル可ク特ニ甚シキニ至リテハ賣主ノ債權者ト共謀シテ既ニ自ラ引取りタルニ拘ハラス之ヲ隱匿シテ以テ賣主ナシテ遂ニ代金ヲ失ハシムルカ如キ危險ナキニ非サルヲ以テ法律ハ這般ノ危險ヲ豫防センカ爲メニ賣主カ目的物ニ於ケル先取特權又ハ第三者ニ對スル解除權利ヲ保存スル爲メ公示方法ヲ盡サ、ルトキハ買主ナシテ當事者雙方ノ名義ヲ以テ直チニ代金ヲ供託セシムルコト、セリ而シテ此供託金ハ當事者雙方ノ合意ニ依ルカ又ハ裁判所ノ判決ニ依ルニアラサレハ之ヲ取下シルコトヲ得ス又當事者雙方ノ名義ヲ以テ供託スルハ若シ一方ノミノ名義ヲ以テ供託シタルトキハ一方ノミノ債權者ノ爲メニ差押ヘラル、ノ恐アルニ依レリ

代金辨濟ノ場所

第二款 代金辨濟ノ場所

當事者カ代金辨濟ノ場所ニ付キテ特別ノ合意ヲ爲シタルトキハ之ニ依ル可キハ素ヨリ論ナシ然レトモ若シ特別ノ合意ナキトキハ目的物ノ引渡ト同時ニ代金ヲ

辨濟ス可キ場合ト否ラサル場合トニ依リ區別アリ

引渡ト同時ニ辨濟ス可キ場合ニハ有體動産ニ付テハ引渡ヲ爲ス可キ場所ニ於テ代金ノ支拂ヲ爲ス可ク不動産債權係爭權利又ハ會社ニ於ケル權利ニ付テハ證書ノ交附ヲ爲ス可キ場所ニ於テ代金ノ支拂ヲ爲ス可キモノトス而シテ物ヲ引渡スル場所ハ既ニ述ヘタル如ク其種類ニ依リテ差異アリ即チ特定物ハ賣買ノ當時存在スル場所代替物ハ之ヲ指定シテ特定物ト爲シタル場所ニ於テ引渡ス可ク其他ノ物ニ在リテハ債務者即チ賣主ノ住所ニ於テ引渡ヲ爲ス可キモノナリ從テ代金ノ支拂モ是等ノ場所ニ於テ爲サ、ル可カラス  
次ニ引渡ト辨濟ト時ヲ異ニスル場合ニ於テハ買主ノ住所ニ於テ代金ヲ辨濟ス可キモノトス蓋シ債務ノ辨濟ハ債務者ノ住所ニ於テ之ヲ爲スナ原則トスルノ適用ニ外ナラサルナリ

代金ノ利子

第三款 代金ノ利子

我民法財産取得編ニ依ルニ買受物カ果實又ハ其他金錢ニ見積ルコトヲ得可キ定期ノ利益ヲ生スルトキハ買主ハ引渡ヲ受ケタル時ヨリ當然代金ノ利子ヲ負擔セ

賣買法 賣買契約ノ効力 買主ノ義務 代金辨濟ノ義務 代金ノ利子



サル可カラサルモノトセリ故ニ例ハ株券又ハ公債證書ノ如キハ果實ヲ生シ又家屋ヲ買受ケ之レニ住居スルトキハ所謂定期ノ利益ヲ生スルヲ以テ買主ハ其物ノ引渡ヲ受ケタルトキヨリ利子ヲ支拂ハサル可カラス而シテ此義務ハ買主カ辨濟ニ付キテ期間ヲ受ケタルト否トヲ問フコトナシ然レトモ反對ノ場合即チ買受物カ果實ヲ生セス又ハ其他ノ定期ノ收益ヲ生セサルトキハ特別ノ合意アルカ又ハ催告アルニアラサレハ利子ヲ負擔スルノ義務ナシ

右ノ規定ハ如何ナル理由ニ基クヤト云フニ蓋シ賣買ノ目的物ハ代金ニ恰當シ其利益ハ代金ノ利子ニ恰當ス故ニ若シ買主ニシテ目的物ノ引渡ヲ受ケ其利益ヲ收受セル以上ハ賣主ニ對シテ其代金ト利子トヲ支拂ハサル可カラス若シ然ラズンハ當事者雙方ノ權衡ヲ維持スルコトヲ得スト云フニ在リ然レトモ此規定ハ果シテ其當ヲ得タルモノナルヤ否ヤニ至リテハ素ヨリ議論ナキヲ得サルナリ今夫レ買主ニシテ代金ヲ支拂ハサランカ賣主ハ期限ニ到リ宜シク普通ノ原則ニ從ヒ代金ノ請求ヲ爲シテ可ナリ而シテ其利子ノ如キハ尙ホ通常民事ノ原則ニ從ヒ附滯ノ手續ヲ盡シタル後ニアラスンハ請求スルコトヲ得スト規定スルモ毫モ實際

目的物ノ引渡ヲ受クル義務

ニ於テ支障ナキノミナラス却テ自ラ法理ニ適合スルモノアルヲ信ス況ンヤ代金ノ辨濟ニ付キテ期間ヲ與ヘタル場合ニ於テモ尙ホ利子ヲ請求スルコトヲ得ト云フニ至リテハ決シテ其當ヲ得タルモノニアラサルヲ知ルナリ特ニ本邦人民カ賣買ヲ爲ス實際ニ就テ看ルニ何等ノ契約ナキニ拘ハラズ當然代金ノ利子ヲ負擔スト豫想スルカ如キコトハ勿論此等ノ特約ヲ爲スコトサヘモ之アラサルカ如シ既ニ人民カ豫想セス若クハ一般ニ契約ヲ結ハサルモノナルニモ關セス強テ法律ヲ以テ意外ノ結果ヲ法律上當然發生セシムルハ決シテ我邦ノ慣行ニ適合スルノ法規ニアラサルヤ言テ俟タサルナリ

第二節 目的物ノ引渡ヲ受クル義務

買主ハ買受ケタル物ノ引渡ヲ求ムルノ權利アルトキハ必スヤ之ト同時ニ其引渡ヲ受クルノ義務アリトス即チ賣主ハ買主ヲシテ其物ヲ引取ラシムルコトヲ得ルナリ而シテ買主ノ此義務タルヤ代金ノ辨濟ヲ爲シタルト否トヲ問フコトナシ何レノ場合ニ於テモ存スルモノトス而シテ其時期及ヒ場所ハ賣主カ引渡ヲ爲ス可キ時期及ヒ場所ト異ナルコトナケレム茲ニ之ヲ省畧ス可シ

賣買法 賣買契約ノ効力 買主ノ義務 目的物ノ引渡ヲ受クル義務



買主引渡ヲ受クルコトヲ拒絶シタルトキハ賣主ハ其目的物ヲ提供シ若クハ供托  
 シテ付遲滯ノ責任及ヒ物ノ危險ヲ負擔スルノ責任ヲ免ル、コトヲ得ルナリ又我  
 民法ニハ明言スルコトナキモ賣主カ物ノ賣渡ノ提供ヲ爲シタルニ拘ハラス買主  
 之ヲ引取ラサルトキハ賣主ハ其後ノ保存費用例ハ倉敷料又ハ保管料ノ如キモ  
 ノヲ負擔スルノ義務ナキハ勿論ナリ財產取得編第八十條ハ動產ノコトノミヲ規  
 定シテ不動產ノコトヲ規定セズ然レトモ不動產ト雖モ敢テ提供ノ手續ヲ爲シ得  
 サルニアラサレハ法文カ動產ノミヲ規定シテ不動產ノコトニ及ハサリシハ一欠  
 點ト謂フ可シ而シテ提供及ヒ供託ノコトハ財產編第四百七十四條ヨリ第四百七  
 十八條マテニ於テ規定セラレタレハ茲ニ贅セサル可シ

日用品其他速ニ敗損ス可キモノニシテ之ヲ保存スルコトヲ許サ、ル物ニ付キ買  
 主之ヲ引取ルコトヲ遲延シタルトキハ賣主ハ買主ニ代リテ之ヲ轉賣スルノ義務  
 アリ蓋シ此義務ハ賣主カ負擔スル所ノ保存義務ノ結果ヨリ生スル所ノモノニシ  
 テ買主カ引渡ヲ受クルコトヲ遲延シタルカ爲メニ賣主ノ此義務消滅スルモノニ  
 アラス故ニ若シ賣主ニシテ之ヲ轉賣スルコトヲ怠リテ物品ノ毀損ヲ來シタルト

キハ賠償ノ責任ニ當ラサル可カラス即チ賣主ハ買主カ引渡ヲ怠リタルコトヲ口  
 實トシテ賠償ノ責任ヲ免ル、コトヲ得サルナリ

賣主カ賣  
 渡物上ニ  
 有スル權

留置權

第四章 賣主カ賣渡物上ニ有スル權

第一節 留置權

買主カ代金ノ全部ヲ支拂ハス若クハ之ヲ提供セサルトキハ賣主ハ賣渡シタル物  
 ノ上ニ數多ノ權利ヲ行フコトヲ得例ハ留置權取戻權又ハ再賣權ノ如キ是レナ  
 リ以下節ヲ別チテ此等ノ諸權利ニ付テ説述ス可シ

留置權ノ何タルハ諸君カ既ニ債權擔保編ニ於テ研究セラレタル所ナレハ茲ニ之  
 ナ詳説スルノ要ナシ今一般ニ之ヲ言フトキハ凡ソ他人ノ物ヲ占有スル者カ其物  
 ニ牽連シテ生シタル債權ノ辨濟ヲ得ルマテ其物ヲ留置スルノ權ヲ法律上ニテ留  
 置權トハ稱スルナリ借代金ノ支拂若クハ提供ヲ受ケサル賣主ハ如何ナル場合ニ  
 於テ賣渡物上ニ留置權アリヤト云フニ左ニ掲クル場合ナリトス  
 (第一)賣主カ代金支拂ニ付キ何等ノ特約ヲ取結ハサルトキ 蓋シ賣主カ代金ノ支  
 拂期間ニ付キ特別ノ契約ヲ取結トサルトキニハ所謂信用上ノ賣買ヲ取結ヒタル

賣買法 賣買契約ノ効力 賣主カ賣渡物上ニ有スル權 留置權



モノナレハ擔保ノ問題ヲ惹起スルコトナシ元來留置權ナルモノハ代金支拂ノ擔保トナル從タル權利ナレハ從ツテ信用上ノ賣買ニ於テハ賣主ハ留置權ヲ有スルコトナシ然レトモ代金ノ支拂期間ニ付キテ何等ノ特約ヲ取結ハサルトキニハ賣主ハ代金ノ擔保ニ供スル爲メニ賣渡シタル物ヲ留置スル權ヲ有スルナリ夫ノ賣主カ代金ノ支拂ヲ受ケサレハ賣渡物ヲ引渡スノ義務ナシト云フハ賣主カ其物上ニ留置權ヲ有スルノ理由ヲ以テモ之ヲ説明スルコトヲ得可シ

(第二)特約ヲ以テ定メタル代金支拂ノ期間ヲ經過シタルトキ 特約ヲ以テ代金ノ支拂期間ヲ定ムルハ是レ即チ信用賣買ナレハ其期間ニアリテハ賣主留置權ヲ有セサルモ既ニ其期間ノ經過シタル後ハ宛モ信用ナキ場合ト同一ナレハ賣主ハ目的物上ニ留置權ヲ有スルコト勿論ナリ

(第三)買主カ無資力者トナリタルトキ 此場合ニ於テハ信用上ノ賣買ナルト否トナ問ハス賣主ハ留置權ヲ有スルモノトス而シテ英國法律ニ依レハ此場合ニ於テハ賣主カ買主ノ代理人ノ資格又ハ受托者ノ資格ニテ物ヲ占有スルトキニ於テモ尙ホ留置權ヲ行フヲ得可シトセリ抑モ留置權ナルモノハ賣主カ自己ノ權利ヲ以

テ占有スルトキニアラサレハ存スルモノニアラサルハ是レ一般ノ通則タリ去レハ英國法ニ於テ買主一タヒ無資力者ト爲リタルトキニハ賣主カ自己ノ資格ヲ以テ占有セサルトキニ於テモ尙ホ留置權アリト爲スハ一ノ例外ト云ハサル可カラ

上來論述シタル如ク賣主カ代金辨濟ノ擔保トシテ賣渡物ノ上ニ留置權ヲ有スルコトハ各國ノ法律ノ皆ナ確認スル所ナレトモ賣渡物ヲ保存スルノ費用ニ付テモ尙ホ賣主ハ留置權アリヤ否ヤノ點ニ至リテハ諸國ノ法律必スシモ其軌チ一ニセズ我既成民法及ヒ商法ノ規定ニ依レハ賣主ハ保存費用ニ付キテモ尙モ留置權ヲ行フコトヲ得ルモノトシ英米ノ法律ニ於テハ之ニ反シテ留置權ヲ行フコトヲ得スト爲セリ今英米法律ノ理由トスル所ヲ聞クニ曰ク元來賣主カ賣渡シタル物ヲ占有スルハ必スシモ賣主ノミノ利益ト云フ可カラス若シ其物ヲ失フコトアラシカ賣主ハ留置權ヲ失ハサルヲ得サルヲ以テ一方ニ於テハ又賣主ノ利益ナリト云ハサル可カラス既ニ賣主カ賣渡物ヲ占有スルハ復タ賣主ノ利益ナリト爲セハ其物ヲ保存スルニ必要ナル費用ニ付テハ其留置權ヲ行フコトヲ得サルヤ素ヨ

賣買法 賣買契約ノ効力 賣主カ賣渡物上ニ有スル權 留置權



リ當然ナリト思フニ此點ハ立法上多少研究ヲ要ス可キモノナラン  
 次ニ留置權ノ効力ニ付テ説明ス可シ  
 留置權ノ効力ハ單ニ賣主カ代金ノ辨濟若クハ提供ヲ受クルマテ賣渡物ヲ占有ス  
 ルト云フニ止マリテ賣主ハ之ヲ賣却シ若クハ賣却シタル代金ノ上ニ先取特權ヲ  
 有スルコトナシ是ヲ以テ買主ハ賣主カ留置權ヲ有スルニ拘ハラス自由ニ之ヲ他  
 人ニ賣却スルコトヲ得ルノミナラズ買主ノ債權者ハ之ヲ債權ノ擔保ニ供スル爲  
 メニ差押且ツ之ヲ賣却スルコトヲ得然レトモ何レノ場合ニ於テモ之ヲ取得シタ  
 ル者ハ留置權者ニ代金ノ辨濟ヲ爲スニアラサレハ決シテ其物ノ占有ヲ得ルコト  
 能ハス是レ我既成民法並ニ諸國法律ノ一般ニ認ムル所ノ原則ナリ然ルニ我商法  
 第三百九十二條ハ此ニ對スル特別ノ規定ヲ設ケタリ何ソヤ他ナシ留置權者カ其  
 權利ノ行使ヲ債務者即チ買主ニ通知セルニ尙ホ相當ノ期間内ニ代金ノ辨濟若ク  
 ハ提供ヲ爲サ、ルトキハ留置權者ハ裁判所ニ申請シテ裁判所ノ命令ヲ得之ヲ買  
 主ニ通知シタル上ニテ賣渡物ヲ更ニ賣却スルコトヲ得而シテ其賣却方法ニ至リ  
 テハ競賣人若クハ仲立人ニ依リテ競賣ノ方法ヲ以テシ又ハ取引所ニ於テ賣買ス

ル所ノ商品ナルトキハ取引所ニ於テ公ノ呼上ヲ以テ賣買ヲ爲サ、ル可カラズ而  
 シテ其賣却期日ノ少クトモ八日前ニ賣却スルコトヲ買主ニ通知セサル可カラズ  
 又留置權者ハ賣得金ノ上ニ先取特權ヲ有ストノコト是ナリ蓋シ我商法カ斯ノ如  
 キ特別ノ規定ヲ設ケタルハ他ナラス今夫レ民法上ノ通則ニ從フトキハ留置權者  
 ハ只代金ノ辨濟ヲ得ルマテ物ヲ占有スルニ止マレハ或ハ數年ノ久シキ之ヲ占有  
 シ置クノ止ムヲ得サルコトアラン斯ノ如ク長日月ノ間權利ノ關係ヲ不確定ニ放  
 置スルハ商業上經濟上其宜キヲ得タルモノニアラサルヤ論ナシ是レ特ニ商法ニ  
 於テ此規定ヲ設ケタルモノナラン  
 最後ニ留置權ノ消滅ニ付テ一言ス可シ

抑モ留置權ナルモノハ讀ンテ字ノ如ク既ニ占有セル物ヲ留置スルトノ權利ナリ  
 去レハ未タ自己ノ占有ニ歸セサル物若クハ已ニ占有ヲ失ヒタル物ニハ留置權ヲ  
 行コトヲ得サルヤ明カナリ是ヲ以テ既ニ其物ノ占有ヲ失ヒタルトキハ留置權モ  
 亦茲ニ消滅ニ歸ス可シ例ヘハ賣主カ買主ニ對シ其物ヲ引渡シタルカ如キ又ハ買  
 主ニ送附スル爲メニ運送人ニ賣渡物ヲ引渡シタルトキノ如キ是レナリ又其一部



ノミチ引渡シタルトキハ其一部ニ付キテノミ留置權ヲ失フニ止マリ其殘部ニ對シテハ留置權ハ依然トシテ存在ス可シ但シ其狀況ニ從ヒ一部ノ引渡ヲ以テ留置權ノ拋棄ト見做スコトヲ得ル場合ハ素ヨリ此限ニ在ラス又留置權ハ主タル債權即チ代金ヲ擔保スル所ノ從タル債權ナリ是ヲ以テ主タル債權ニシテ時効其他ノ原因ニ依リテ消滅シタルトキハ留置權モ亦當然之ニ共ニ消滅ス又留置權ハ一ニ賣主ニ屬スル權利ナリ從テ之ヲ拋棄スルト否トハ一ニ賣主ノ自由ニ存セリ然レトモ一旦賣主ニシテ之ヲ拋棄シタル以上ハ再ヒ留置權ヲ行使スルコトヲ得ス即チ拋棄モ亦留置權消滅ノ一原因ト謂フ可シ而シテ賣主カ之ヲ拋棄シタルヤ否ヤハ素ヨリ其意思ヲ推測シテ之ヲ判斷セサル可カラスト雖モ夫ノ賣主カ他ニ十分ナル擔保ヲ有スルトキ若クハ賣主カ有意ニテ留置權ヲ行フコトヲ怠リタルトキハ法律ハ一應留置權ヲ拋棄シタルモノト看做ス可キナリ

## 取戻權

## 第二節 取戻權

我既成民法ニ於テハ取戻權ナルモノヲ認ムルコトナシ思フニ羅馬法カ之ヲ認メサルニ由ルモノナラン然レトモ英國法律ニ於テハ古來ヨリ賣主ノ此權ヲ認メ

リ即チ英國法ニ依ルニ(一)賣主カ代金ノ支拂ヲ爲サスシテ之ヲ停止シタルトキ若クハ(二)賣買以前既ニ買主支拂停止トナリタリトコトヲ賣主カ賣買後ニ於テ知リタルトキハ賣主ハ買主又ハ其指圖人ニ宛テタル運送中ノ賣買物ヲ差止メ之ヲ自己ノ占有ニ復歸セシムルコトヲ得ルモノトセリ是ニ由テ之ヲ觀レハ取戻權ハ甚タ留置權ニ類似スル所アルモ又大ニ相違スル所アリ即チ留置權ハ既ニ自己ノ占有ニ歸シタル物ヲ留置スルノ權ナレトモ取戻權ハ既ニ占有ヲ失ヒタル物ヲ取戻スノ權ナレハ一ハ既ニ占有ヲ失ヒタルトキノ救濟權ニシテ一ハ未ダ占有ヲ失ハサルトキノ救濟權タルノ差異アリ尙ホ其他ノ小差異ニ付テハ一々茲ニ列叙セサル可シ

今ヤ此權利ノ起源ヲ釋スルニ全ク英國法ニ於テ特發シタルモノナリ英國法ニテハ之ヲ「ストップペーシ、イン、トランスナチー」(Stoppage in transitu)ト云フ而シテ判決例ニ依リ始メテ此權利ヲ認メタルハワイズマン對パンヤプットノ訴件ナリトス尤モ其以前ニ於テモ之アリシニハ相違ナカル可シト雖モ歷史上明白ナルモノハ此訴件ヲ以テ初トス而シテ此判決例カ英國衡平法ノ確然タル規則ト認メラレタルハス



ネー對プレスコット及ダクイラ對ランベルトノ訴件ナリトス而シテ此衡平法ノ原則ヲ普通法裁判所ニ輸入シタルハ何人ナリヤト釋スルニ夫ノ有名ナル判事「ロード」マンズフィールド氏其人ナリトス氏ハ素ヨリ余ノ暇々ヲ俟タサレトモ英國有名ノ判事ニシテ特ニ久シキ間判事ノ職ニ在リテ商法上ノ判決例ヲ後世ニ傳ヘタルコト氏ノ右ニ出ツル者ナシ氏カ下シタル摸範判決例ヲ編成セハ能ク一部ノ商法典ヲ成ス可シト云フモ決シテ過言ニ非サルナリ夫ノ衡平法裁判所ニ於テ認メラレタル取戻權ヲ移シ來リテ普通法裁判所ノ法規ト爲シタルハ即チ氏ヲ於テ嚆矢トス

我商法ハ此取戻權ヲ認メタリ蓋シ是レ獨リ我商法ノミナラス歐洲大陸ノ商法ニ於テモ亦此權ヲ認ムルモノ甚タ多シ今我商法第五百七十二條并ニ第五百七十八條ニ依ルニ代金ノ支拂ヲ受ケサル賣主又ハ賣主ト實質上同一ノ地位ニ在ル者カ信用上ノ取引ヲ爲シタル後買主カ其支拂ヲ停止スルカ又ハ停止セントスルトキ若シハ其取引以前既ニ支拂停止トナリタルコトヲ取引後ニ至リテ知リタルトキハ運送中ノ賣買物ヲ取戻スコトヲ得ルモノトセリ此規定ニ依レハ商法ニ所謂取

戻權ナルモノハ殆ント英國法ニ所謂差止權ト同一ナルノ觀アリ

### 第一款 取戻權ヲ行ヒ得可キ場合

取戻權ヲ行ヒ得可キ場合

取戻權ハ左ニ記載スル所ノ三條件ヲ具備スルニ非サレハ之ヲ實行スルコトヲ得

(第一) 賣買契約ヲ取結ヒタル後ニ買主カ其支拂ヲ停止シタルコト又ハ支拂ヲ停止セントスル場合若シハ賣買契約以前既ニ支拂停止トナリタルコトヲ取結後ニ至リテ賣主ノ知リタル場合ナラサル可カラス 買主ハ未タ支拂ノ停止ヲ爲サ、ルモ將ニ支拂停止ヲ爲サントスル場合トハ如何ナルトキノ謂ナリヤト釋スルニ未タ支拂ノ停止ヲ爲サ、ルモ遠カラス支拂停止ニ至ラントスルコトヲ疑フニ足ル可キ充分ノ理由アルトキ若シハ切迫シタル取引ノ狀況ノ爲メニ支拂停止ヲ爲スヤモ測リ難キ場合即チ是レナリ例ヘハ買主ハ非常ニ多ク商品ヲ買入レタルモ商況日々ニ衰微シテ非常ノ損害ヲ來タシ遠カラス支拂停止ヲ爲スヤモ測リ難キカ如キ場合ニ於テハ實際支拂ノ停止ヲ爲シタルトキト同シク賣主ハ取戻權ヲ實行スルコトヲ得ルモノトス蓋シ法律ノ精神トスル所ハ若シ

賣買法 賣買契約ノ効力 買主カ賣買物上ニ有スル權 取戻權 取戻權ヲ行ヒ得可キ場合 二二二



買主ニシテ現ニ支拂ノ停止ヲ爲サ、ルモ將ニ支拂停止ヲ爲サントスル切迫ノ  
 情況ニ在ルトキニ於テ賣主ヲシテ取戻權ヲ實行スルコトヲ得セシメサルトキ  
 ハ賣主ハ爲メニ回復ス可カラサルノ損害ヲ蒙ルルコトヲ恐レタルカ爲メナラ  
 ン然レトモ此規定即チ買主未タ支拂ヲ停止セス又ハ無資力トナリタルコト明  
 カナラサルニ賣主ヲシテ取戻權ヲ行ハシムルノ規定ハ管々ニ英米法ニ於テ之  
 チ認メサルノミナラス諸國法律ノ均シク認メサル所ナリ英米法ニ依ルニ賣主  
 カ取戻權ヲ實行スルコトヲ得ルハ買主無資力トナルカ若クハ破産ヲ爲シタル  
 トキニ限ルモノト爲セリ蓋シ取戻權ナルモノハ既ニ買主ノ所有ニ屬セルモノ  
 チ取戻サントスルノ權利ナレハ非常ノ場合ノ外之ヲ行フコトヲ許ス可キモノ  
 ニ非サルハ論ナカル可シ我商法ノ規定ハ偏ニ賣主ニ厚クシテ買主ニ薄キノ感  
 ナキニ非サル乎要スルニ我商法ノ規定ハ果シテ妥當ヲ得タルモノナルヤ否ヤ  
 此點ハ實ニ一ノ疑問ト云フ可シ

(第二) 賣主未タ代金全部ノ支拂ヲ受ケス且ツ充分ナル擔保ヲ受ケサル場合ナラ  
 サル可カラス 抑モ賣主ニ取戻權ヲ附與スル所以ハ何ソヤ他ナシ未タ代金ヲ

受取ラサル賣主ヲ保護センカ爲メナリ換言スレハ代金ノ債權ニ對スル擔保ノ  
 權利トシテ取戻權ヲ賣主ニ與フルニ在リト去レハ賣主ニシテ既ニ代金全部  
 ノ支拂ヲ受クルカ若クハ充分ナル擔保ヲ受ケタルトキハ此權ナキヤ勿論ナリ  
 (第三) 賣買物ハ未タ運送中ニ在リテ買主若クハ其代人ノ占有ニ移ラサル場合又  
 ハ買主又ハ其代人カ有効ニ他ニ轉賣若クハ質入レヲ爲サ、ル場合ナラサル可  
 カラス 元來取戻權ナルモノハ貨物既ニ賣主ノ手ヲ離レテ未タ買主ノ手ニ歸  
 セサル場合ニ於ケル物上ノ救濟權タリ即チ賣主未タ賣渡物ヲ占有セルトキハ  
 留置權ヲ有スルヲ以テ取戻權ヲ行フノ必要ナシ從テ取戻權ヲ行フニハ必スヤ  
 賣買物ハ賣主ノ手ヲ離レテ而シテ未タ買主ノ手ニ歸セサル間ナラサル可カラ  
 ス而シテ玆ニ運送中ト云フハ必スシモ運送シツ、アル間ノ謂ニ非スシテ賣主  
 カ運送人若クハ運送取扱人ニ占有ヲ交付シタルトキヨリ其物カ買主若クハ荷  
 受人ノ占有ニ歸セサル間ヲ云フナリ故ニ賣買物未タ運送取扱人又ハ運送人ノ  
 倉庫ニ在ルトキハ賣主ハ取戻權ヲ行フコトヲ得可シ  
 實質上賣主ト同一ノ地位ニ在ル者トハ如何ナル義ナリヤト云フニ夫ノ仲買人ノ

賣買法 賣買契約ノ効力 賣主カ賣渡物上ニ有スル權 取戻權  
 取戻權ヲ行ヒ 得可キ場合  
 二二三



如キハ賣買主間ニ立チ自己ノ名義ヲ以テ雙方ノ代理ヲ爲ス者ナレハ之ニ貨物賣渡ノ委任ヲ爲シタルトキハ仲買人ト委託者トノ關係ハ猶ホ賣主ト買主トノ關係ト同一般ナリ蓋シ仲買人ナル者ハ委託セラレタル物ヲ自己ノ名義ヲ以テ賣却スルモノニシテ普通ノ代人ノ如ク委任者ノ名ヲ以テ賣却スルモノニ非ス第三者ニ對シテハ仲買人ハ全ク商品所有者ト異ナルコトナシ從テ仲買人カ物品賣却ノ委任ヲ受ケテ之ヲ引取りタルトキハ宛モ仲買人自ラ其物品ヲ買取りタルニ同シ即チ委託者ハ賣主ノ地位ニ立チ仲買人ハ買主ノ地位ニ立ツモノト謂ツ可シ素ヨリ法理上ヨリ論スレハ委託者ト仲買人トハ本人ト代人トノ關係タルニハ相違ナシト雖モ仲買人ノ本質ヨリシテ實質上賣主ト買主トノ關係アルモノ爲トスナリ是ヲ以テ委託者カ仲買人ニ商品賣却ノ委託ヲ爲シ之ヲ引渡シタル後ニ於テ仲買人カ支拂停止若クハ支拂停止ト同様ナル狀況ヲ呈シタルトキハ委託者ハ取戻權ヲ行ヒ商品ヲ取戻スコトヲ得ルモノナリ而シテ此場合ニ於テハ仲買人カ既ニ之ヲ第三者ニ賣渡シタルトキニ於テモ其物カ未ダ第三者ノ占有ニ歸セサルトキハ尙ホ取戻權ヲ行フコトヲ得ルモノトス又貨物ヲ買受クルノ委託ヲ受ケタル仲買人

八六 八七

ハ其委託者ニ對シテ宛モ賣主ノ地位ニ立ツ者ナルヲ以テ此仲買人モ亦前述ノ三條件ヲ具備スル場合ニハ取戻權ヲ行フコトヲ得ルナリ

尙ホ茲ニ一言ス可キモノアリ這ハ元來賣主ノ取戻權ニハ關係ナキヲ以テ賣買法ニ於テ之ヲ述フルハ素ヨリ其序ヲ得タルモノニ非サレトモ我商法ハ之ヲ賣買ノ部ニ於テ規定シタルヲ以テ他ニ講述ス可キノ機會ナキカ故ニ茲ニ附說スルモノト知ル可シ开ハ他ナラス我商法ハ賣買法ニ於ケル取戻權ノ主義ヲ擴張シテ之ヲ他ノ場合ニ適用スルコトヲ規定シタリ即チ左ノ如シ

(第一) 債務者ニ非サルモノカ交互計算ノ爲メ又ハ貯藏取立若クハ保證ノ爲メ又ハ支拂ヲ爲サシムル爲メ手形其他ノ信用證券ヲ他人ニ送附シ而シテ其證券カ未ダ金錢ニ交換セラレスシテ受取人ノ方ニ存在スル場合ニ於テハ其手形等ヲ送附シタル者ハ取戻權ヲ行フコトヲ得ルナリ是レ商法第五百七十九條第一號ノ規定スル所ナリトス例ヘハ交互計算ニ付テ云ヘハ交互計算トハ雙方相互ニ取引シタル者カ其取引シタル債權ト債權トヲ相殺スル一ノ計算方法ナリ此交互計算ノ爲メニ手形ヲ先方ニ送りタルニ先方カ破産シタルトキハ若シ其手形

賣買法 賣買契約ノ効力 賣主カ賣渡物上ニ有スル權 取戻權 取戻權ヲ行ヒ得ル可キ場合 二二五



ニシテ未タ金錢ニ交換セラレスシテ先方ニ存在スルトキハ取戻權ヲ行ヒ之ヲ取戻スコトヲ得ルカ如キ是レナリ

(第二) 債務者カ第一ノ場合ト同一ノ目的ヲ以テ金錢ヲ他ノ者ニ送附シ其金錢カ未タ受取人ニ達セス若クハ到着シタルモ其受取人ハ未タ自己ノ計算ニ移サス若クハ其他ノ處分ヲ爲サ、ル場合ニ於テハ其金錢ヲ送附シタル者ハ取戻權ヲ行フコトヲ得

以上ノ二場合ハ固ヨリ英米法律ノ認メサル所ニシテ我法律上特ニ普通ノ取戻權ノ主義ヲ擴張シタルモノナリ佛國商法第五百七十四條ニ於テハ信用證券ニ付テハ我法律ト同様ノ規定ヲ爲シタレトモ金錢ニ付テハ何等ノ規定ヲモ設クルコトナシ去レハ送附シタル金錢ニ付キ取戻權アルコトヲ認ムルハ我商法ヲ以テ嚆矢ト爲サ、ル可カラス

### 第一款 取戻權ノ消滅

買主若クハ代人カ既ニ目的物ノ引渡ヲ受ケタルトキハ取戻權消滅スルノミナラズ目的物ヲ現ニ買主ノ倉庫ニ入ル、カ又ハ買主ノ名ヲ以テ倉庫ニ寄託スルトキ

### 取戻權ノ消滅

ハ取戻權ハ當然消滅ニ歸スルモノナリ之ヲ要スルニ實際上ノ引渡ハ勿論所謂解釋上ノ引渡アリタルトキニ於テモ尙ホ取戻權ハ消滅スルモノトス

茲ニ一ノ注意ス可キコトアリ他ナラス處分證券ノ占有ハ原物ノ占有ト同視スルコトアリト雖モ取戻權ノ場合ニ於テハ處分證券ノ引渡ヲ以テ目的物ノ引渡ト同視セサルコト是レナリ即チ買主ハ既ニ處分證券ノ占有ヲ得ルモ未タ其原物ヲ占有セサルトキハ賣主ニ於テ取戻權ヲ行フコトヲ得ルモノトス

買主又ハ其代人カ未タ目的物ノ占有ヲ得ス又ハ目的物ノ引渡ヲ得サルモ處分證券若クハ其他ノ方法ヲ以テ之ヲ有効ニ他ニ轉賣シ若クハ質入シタルトキハ賣主ノ取戻權ハ消滅ニ歸スルモノトス而シテ我商法ニ依レハ此有効ナル轉賣ヲ組織セシニハ左ノ二條件ヲ要スルモノトセリ

(第一) 第二ノ買主カ善意ナルコト 換言セハ第二ノ買主ニ於テ取戻權ノ存在セルコトヲ知ラサルコトヲ要ス

(第二) 第二賣買ノ代價ハ相當ニシテ且ツ眞實ナルコト 詳言スレハ代價ヲ授受セルコトハ假裝ニシテ眞實ニ非サルトキ若クハ代價ノ極メテ不相當ニシテ普

賣買法

賣買契約ノ効力

賣主カ賣渡物上ニ有スル權

取戻權

取戻權ノ消滅



通ノ價額ト非常ナル懸隔アルトキノ如キハ有効ナル轉賣ニ非ス從テ取戻權ヲ消滅スルニ足ラサルナリ

蓋シ第一ノ條件即チ第二ノ買主カ善意ナラサル可カラサルコトハ素ヨリ論ナカ  
ル可シ第二ノ條件ハ要スルニ詐欺其他ノ奸策ヲ防遏セントスルノ精神ニ外ナラ  
ス而シテ代價ニシテ相當ナル以上ハ其代價ハ既ニ授受セラレタルヤ否ヤ問フ  
コトナク取戻權消滅スルモノナリ斯ノ如ク我商法ハ有効ナル賣買ヲ成立スルニ  
付テノ條件ヲ法典ニ列記シタリト雖モ有効ナル質人ヲ成スニハ如何ナル條件ヲ  
要スルヤニ付テハ何等ノ條規ヲモ設クルコトナシ思フニ賣買ノ規定ヲ準用シテ  
其有効無効ヲ斷ス可キモノナラン

取戻權ハ賣主カ信用賣買ヲ爲シタルトキナルト又ハ既ニ支拂ヲ受ケタルトキナ  
ルト將ク又賣主及ヒ買主ノ間交互計算ノ關係ヲ有シ未タ計算ヲ爲スノ時機ニ至  
ラサルトキナルトヲ論セス之ヲ行フコトヲ得ルモノナリ然レトモ賣主カ買主ヲ  
支拂人トシテ爲替手形ヲ振出スカ又ハ約束手形或ハ其他ノ信用證券ヲ振出シ代  
金ノ支拂ニ充テタルトキハ若シ此等證券ノ債務者トシテ買主若クハ代人ノ外ニ

六〇

取戻權ノ効力

第三者之ニ署名セルトキハ賣主ハ取戻權ヲ行フコトヲ得ス何トナレハ斯ル場合  
ニ若シ單ニ買主ノミ債務者トシテ署名セハ買主ニシテ支拂能力ヲ失フトキハ其  
證券ハ全ク有名無實ノモノトナルモ第三者之ニ署名シタルトキ即チ保證ノ義務  
ニ當リタルトキハ買主ハ無資力トナルモ其證券ハ有名無實ニ非スシテ依然有價  
ノモノナレハナリ然ラハ其署名ヲ爲シタル第三者カ買主ト共ニ無資力トナリタ  
ルトキハ如何賣主ハ取戻權ヲ行フコトヲ得ルヤト云フニ法律ニ於テ之ヲ行フコ  
トヲ得ルトノ規定ナキヲ以テ賣主ハ尙ホ取戻權ヲ行フコトヲ得スト云ハサルナ  
得ス即チ我法律ハ敢テ此點迄モ取戻權ヲ擴張シテ賣主ヲ保護セサルナリ

第三款 取戻權ノ効力

元來取戻權ナルモノハ留置權ト同シク擔保權即チ主タル權利ヲ擔保スルノ從タ  
ル權利ナレハ取戻權ヲ行使スルモ其性質ヨリ云フトキハ賣買契約其モノヲ消滅  
セシムルモノニ非ス從テ買主又ハ買主ノ破産管財人カ代金ヲ支拂ヒ若クハ相當  
ノ擔保ヲ提供シタルトキハ賣主ハ其取戻シタル物ヲ引渡サ、ル可カラズ英國法  
ニ依レハ之ヲ差止權ト稱シ其効力ハ只タ賣渡物ヲ差押ヘテ自己ノ占有ニ歸セシ

賣買法 賣買契約ノ効力 賣主カ賣渡物上ニ有スル權 取戻權 取戻權ノ効力 二二九



メ宛モ未ダ運送ニ附セサル以前ノ狀況ニ回復スルモノニ過キストセリ然ルニ我  
 商法ニ於テハ之ヲ取戻權ト稱スルニ由リ此名稱ヨリ云フトキハ賣買契約其モノ  
 ナ取消シ賣主ナシテ之ヲ自己ノ所有ニ回復セシムルノ効力アルモノ、如シ然レ  
 トモ法律ニ於テハ明カニ其効力如何ヲ規定スルコトナキヲ以テ英法ノ如ク單ニ  
 差止ムルノ權ニ過キサルカ將タ所有權ヲ回復スルノ權ナルカ之カ判斷ニ苦マサ  
 ルヲ得ス只ク取戻權ナル名稱アルヨリ或ハ賣買其モノヲ取消シテ賣主ノ所有ニ  
 回復セシムルモノト爲シタルニ非サルヤヲ疑フノミ因テ之ヲ起草者ノ說明ニ徵  
 スルニ是レ亦或ハ英國法ノ如ク單ニ擔保權ノ性質ヲ帶ハシムルニ止マルカ如ク  
 又ハ賣買其モノヲ解除シテ所有權ヲ取戻スノ方法ナルカ如ク大ニ明了ヲ缺ク所  
 アリ即チ起草者ノ一方ノ說明ニ曰ク取戻權ハ留置權ト同シク擔保權ナリ只タ二  
 者ノ異ナル所ノ重ナル點ハ買主ノ費用ヲ以テ買主ノ爲メニ再賣スルヲ得ルト  
 賣主ノ所有物ト爲シ更ニ他人ニ再賣スルコトヲ得ルトノ區別ニ過キスト此前段  
 ノ說明ニ依レハ取戻權ハ擔保權ノ如クナルモ後段ノ區別ヨリ看レハ取戻權ハ賣  
 買ヲ解除スル所ノ權利ナルカ如シ然レトモ若シ果シテ賣買ヲ解除シ賣主ノ所有

ニ歸セシムルモノナレハ之ヲ再賣スルト否トハ一ニ賣主ノ自由ナリト云ハサル  
 可カラズ然ルニ起草者ハ之ヲ再賣セサル可カラサルカ如ク說明セリ是レ起草者  
 ハ取戻權ハ擔保權ノ性質ヲ帶フルモノト認メテ以テ起案シタルニ非サルナキヲ  
 得ンヤ又起草者ノ一方ノ說明ニ曰ク買主又ハ其代人カ代金ノ支拂ヲ爲スカ又ハ  
 擔保物ヲ提供シタルトキハ賣主ハ取戻權ヲ行フコトヲ得スト此說明ニ依レハ又  
 起草者ハ取戻權ヲ以テ擔保權ノ性質ヲ帶フルモノト爲シタルカ如ク之ヲ要スル  
 ニ起草者ノ說明ハ其主旨ニ途ニ出ツルカ如ク要領ヲ得タルモノト云フ可カラサ  
 ルナリ然レトモ法ノ真意ノ在ル所ヲ推敲シ來レハ賣主カ取戻權ヲ行使シタル後  
 ト雖モ買主又ハ其代人ハ代金ノ支拂ヲ爲シ目的物ノ引渡ヲ求ムルヲ得ヘシ買主  
 又ハ其代人カ代金ノ支拂ヲ爲サルトキニ於テ始メテ賣主之ヲ自己ノ所有ト爲  
 スコトヲ得即チ賣買ヲ解除シテ所有權ヲ取戻スコトヲ得ルナリ而シテ買主ハ何  
 時マテ代金ヲ支拂ヒ之カ引渡ヲ求ムルコトヲ得ルヤト云フニ我法律上明文アル  
 コトナシ思フニ賣主カ買主ニ對シテ催告ヲ爲シ而シテ尙ホ代金ノ支拂アラサル  
 トキハ賣主ハ之ヲ自己ノ所有ニ歸スルコトヲ得ルノ精神ナラン何レニセヨ此點

賣買法 賣買契約ノ効力 賣主カ賣渡物上ニ有スル權 取戻權ハ取戻權ノ効力



ニ關スル商法ノ法文ハ甚ダ不完全ナリト云ハサル可カラズ  
 佛國商法中取戻權ニ關スル規定ハ第五百七十四條乃至第五百七十九條ノ數箇條  
 ニアリ而シテ同法ハ如何ナル効力ヲ取戻權ニ附シタルヤト云フニ明カニ賣渡物  
 ナ賣主ノ所有ニ回復セシムルノ効力アルモノト爲セリ左レトモ其効力ニハ制限  
 ナ付シタリ然ラハ其制限トハ何ソヤト釋スルニ元來佛國商法ニ於テハ取戻權ヲ  
 破産法ノ條下ニ規定シテ破産處分ノ一事項ト爲セリ而シテ破産管財人ナルモノ  
 ハ破産主任官ノ認可ヲ得テ賣買代金ヲ賣主ニ支拂ヒ而シテ商品ノ引渡ヲ求ムル  
 コトヲ得若シ争アルトキハ裁判所ハ主任官ノ意見ヲ聞キテ裁判ヲ下スモノトセ  
 リ而シテ其期間ハ如何ト云フニ素ヨリ取戻權ヲ以テ破産處分ノ一部ト看做スカ  
 故ニ破産處分ノ終結ニ至ル迄ノ間ニ爲サ、ル可カラサルハ當然ナリ然ルニ我商  
 法ニ於テハ敢テ取戻權ヲ以テ破産處分ノ一ト爲サ、レハ我法典ノ編成上ヨリ云  
 へハ其期間ヲ明定セサル可カラサルノ必要アリ故ニ其之ヲ明定セサルハ我法律  
 ノ一缺點ト謂ツ可シ然レトモ今若シ缺點ノ儘之ヲ實行セント欲セハ賣主ハ買主  
 ニ對シテ催告シ買主尙ホ代金ヲ支拂ハサルトキハ買主ハ到底代金ヲ支拂ヒテ其

物ノ引渡ヲ請求スルコトヲ得スト爲サ、ル可カラサル可シ

### 第三編 賣買ノ解除

#### 第一章 義務ノ不履行ニ因ル解除

賣買當事者ノ一方カ其負擔スル義務ノ全部若シハ不可分義務ノ一部ノ履行ヲ欠  
 キタルトキハ明約ヲ以テ解除シ得ルコトヲ定メタルト否トニ拘ハラス他ノ一方  
 ハ賣買契約ノ解除ヲ請求シ若シ爲メニ損害ヲ受ケタルトキハ其賠償ヲ要求スル  
 コトヲ得事ハ取得編第八十一條ニ在リ今夫レ何カ故ニ解除ノ明約ナキトキト雖  
 モ一方カ義務ノ履行ヲ欠キタルトキハ他ノ一方ハ解除ヲ請求スルコトヲ得ルヤ  
 ト問フニ我法律ハ賣買ノ如キ雙務契約ニ於テハ一方カ義務ノ履行ヲ爲サ、ルト  
 キハ契約ヲ解除シ得ルトノ默示ノ契約アリト看做シタレハナリ換言スレハ當事  
 者ノ間默示ヲ以テ解除條件ヲ定メタルモノト法律上推測セラル、チ以テナリ是  
 故ニ義務ノ不履行ニ因ル解除ニハ默示ノ解除ノ場合ト明示ノ解除ノ場合トノ二  
 アリ而シテ其何レノ場合タルヲ問ハス履行ヲ欠キタル當事者ヲ遲滯ニ附シタル  
 後ニ非サレハ解除ヲ請求スルコトヲ得サルナリ然レトモ明示ノ解除ノ場合ト默

賣買ノ解除  
 義務ノ不履行ニ因ル解除

賣買法 賣買ノ解除 義務ノ不履行ニ因ル解除



示ノ解除ノ場合トノ間我法典上二個ノ差異ノ認ム可キモノアリ(第一)黙示ノ解除ノ場合ニハ權利者ヨリ裁判所ニ向テ解除ヲ請求スルニ非サレハ其効ナシ之ニ反シテ明示ノ解除ノ場合ニハ義務者ヲ遲滯ニ附スルトキハ當然解除ノ効ヲ生スルモノトス換言スレハ黙示ノ解除ノ場合ニハ解除ハ當然行ハル、モノニ非ス權利者ヨリ之ヲ裁判所ニ請求セサル可カラス之ニ反シテ明示ノ解除ノ場合ニ在テハ解除ハ當然行ハル、モノニシテ之ヲ裁判所ニ請求スルノ必要ナシ但シ明示ノ解除ノ場合ト雖モ當然解除ノ行ハル、コトヲ約束スルニ非サレハ決シテ其効ヲ生スルモノニ非スシテ猶ホ黙示ノ場合ト同シク之ヲ裁判所ニ請求セサル可カラス(第二)明示ノ解除ノ場合ニハ裁判所ハ恩惠期日ヲ與フルコトヲ得ス之ニ反シテ黙示ノ解除ノ場合ニハ裁判所ハ恩惠期日ヲ與フルコトヲ得以上ノ二者ハ我法典カ明示ノ解除ト黙示ノ解除トノ間ニ認メタル所ノ差異ナリ

抑モ雙務契約ニ於テ一方ノ義務者カ義務ヲ履行セザルトキハ他ノ一方カ契約ヲ解除シ得ルコトニ付テハ古來ニケノ主義アリ一ハ我既成民法ノ如ク黙示契約ヲ以テ解除條件ヲ約シタルモノトスルノ主義カリ即チ當事者ハ明約ナキモ一方カ

履行ヲ爲サハルトキハ契約ヲ解除センコトヲ黙約ニ因リ約束シタリト爲スモノニシテ要スルニ合意ヲ根底トスル所ノ主義ナリ之ニ反シテ他ノ一ハ契約ノ解除ハ義務ノ不履行ニ對スル一ノ制裁ナリトスルノ主義ナリ即チ法律カ特ニ權利者ニ與フル所ノ救濟權ナリト云フニ在リ今ヤ此二者中何レノ主義ヲ採用ス可キヤハ事立法上ノ問題ニ涉レトモ何レノ主義ヲ採ルモ解除ハ裁判所ニ請求スルニ非サレハ其効ナシト云フハ毫モ根據ナキモノナラン況ンヤ合意主義ヲ採ル以上ハ裁判所ニ請求セズンハ解除ノ効ナシト云フニ於テハ一層ノ不道理タルヲ免カレサルナリ然ルニ我既成民法ハ明カニ解除ハ裁判所ニ請求セズンハ効果ナシトセリ是レ果シテ何ノ理由トスル所カアル抑モ當事者ニ於テ黙示ノ合意ヲ以テ不履行ノ場合ニハ契約ヲ解除ス可シト約シタルモノトセハ何故ニ裁判所ニ請求セズンハ解除ノ効ナキ乎普通合意ノ場合ニ於テハ法律上當然ノ効果ヲ附スルニ拘ハラス解除ノ合意ノ場合ニハ當然ノ効ナシトスルハ何等ノ理由ニ出テタルヤ余輩殆ント判斷ニ苦マサルヲ得ス元來裁判所ハ爭アル場合ニ當事者ノ意思ヲ推究シテ既ニ定マリタル權利關係ヲ明確ニスルモノニ過キス裁判所ノ判決ハ決シテ新

買賣法 買賣ノ解除 義務ノ不履行ニ因ル解除



ニ權利ヲ生シ義務ヲ生スルモノニ非ス只タ既存ノ權利ヲ明定スルニ外ナラサルナリ然ルニ我既成民法カ契約ヲ解除スル場合ニハ必スヤ裁判所ニ請求セサル可カラスト規定シタルハ判決ヲ以テ權利義務發生ノ原因ト爲シタルモノニ外ナラス其當ヲ得サル豈ニ喋々ノ辯ヲ俟タシヤ思フニ此規定ノ出テタルハ佛國民法ニ淵源スルモノナラン今ヤ既成ノ民法ハ行ハレス解除ニ關スル法律ハ布カレス學者裁判官タル者須ラシ法理ノ在ル所ニ依リテ論斷セサル可カラス然ルニ裁判所ニ於テ猶ホ我既成民法ノ如キ說ヲ主張スル者アリ例ヘハ賣買代金ノ取戻ヲ求メント欲セハ必スヤ其以前ニ契約ノ解除ヲ訴ヘサル可カラスト云フカ如シ是レ亦佛國民法ニ由來スルモノナル可シト雖モ余輩ハ大ニ學理ニ背馳スルアルヲ信スルナリ余輩ノ信スル所ニ依レハ若シ一方ニシテ義務ヲ履行セサルトキハ他方ヨリ其契約ヲ解除スルコトヲ申込マハ契約ハ茲ニ直チニ解除セラル可シ特ニ契約ノ解除ハ當事者ノ合意ニ基クモノナリトノ主義ヲ採ルモノニ於テハ然ラサルヲ得ス只解除ノコトニ關シテ爭アルトキニ限り始メテ裁判所ニ訴ヘ其判決ヲ求ム可キノミ要スルニ裁判所ノ判決アルニ非サレハ解除ノ効ナシト云フカ如キ我既

成民法ノ規定ハ毫モ其當ヲ得タルモノニ非サルナリ  
 次ニ賣主ノ解除訴權ハ賣渡シタル物カ既ニ第三者ニ移轉シタルトキト雖モ尙ホ之ヲ執行スルコトヲ得ルヤト云フニ不動産又ハ船舶ノ如キ登記手續ノ規定アル場合ト動産物ノ如ク登記手續ノ規定ナキ場合トニ依リテ多少其法規ヲ異ニセリ以下之ヲ分論ス可シ

(第一) 登記ノ定メアル物 抑モ賣主ノ解除訴權ハ純然タル人權ナルカ將タ物權ナルカニ付テハ素ヨリ法學者間ニ議論アル所ナレトモ我法律ハ特ニ賣主ヲ保護センカ爲メニ賣主ノ解除訴權ニ物權ノ性質ヲ帶ハシメ猶ホ他ノ權利ト同シク登記法ニ依リテ公示シタルトキハ第三者ニ對シテモ尙ホ解除訴權ヲ行フコトヲ得ト規定シタリ而シテ此訴權ヲ行フニハ左ニ述フル所ノ二條件ヲ充實セサル可カラス即チ

- (一) 買主ノ猶ホ代金ノ全部若クハ一分ノ負擔又ハ他ノ負擔ヲ明示シタル賣買證書ヲ作成セサル可カラス
- (二) 賣買證書ニ依テ登記ヲ爲サ、ル可カラス

賣買法 賣買ノ解除 義務ノ不履行ニ因ル解除



是ナリ此二條件ヲ具備シタルトキハ賣主ハ第三者ニ對シテモ尙ホ解除ヲ求ムルコトヲ得ルモノトス既ニ第三者ニ對シテ解除ヲ求ムルコトヲ得ル以上ハ買主ト第三者トヲ併セテ訴フルモ又ハ先ツ買主ニ對シテ解除ヲ請求シ而シテ後第三者ヲ訴フルモ差支ナシ而シテ右ニ云ヘル登記ハ賣買ノ登記以後ニ於テモ之ヲ爲スコトヲ得レトモ登記以前ニ第三者カ既ニ權利ヲ得タルトキハ其權利ヲ害スルコトヲ得サルハ勿論ナリ

(第二) 登記ノ定メナキ物 現行法ニ於テハ船舶ヲ除キ其他ノ動産ニ付テハ公示方法ナシ從テ第三者ハ賣主ノ解除訴權ヲ有スルヤ否ヤヲ知ルノ方法ナシト謂フ可シ然レトモ動産ハ不動産ト異ナリ自由ニ占有スルコトヲ得ルモノナレハ動産ニ於ケル占有ハ不動産ニ於ケル登記ト同シク一個ノ公示方法ト看做スコトヲ得可シ故ニ此場合ニ於テハ占有ヲ移シタル場合ト然ラサル場合トニ依リテ其規定ヲ異ニセサルヲ得ス左ニ之ヲ分論セン

(一) 代價辨濟ニ付テ期間ヲ與ヘ而シテ期限前ニ物ヲ引渡シタル場合 此場合ハ賣主ハ全ク買主ニ信用ヲ置キタルモノニシテ物件ニ對シテ何等ノ權利ヲ

留保シタルモノニ非ス故ニ此場合ニ於テハ第三者ニシテ既ニ物件ニ付キ權利ヲ取得シタルトキハ賣主ハ最早解除訴權ヲ行フコトヲ得ス獨リ第三者ニ對シテ解除訴權ヲ行フコトヲ得サルノミナラス買主ニ對シテモ尙ホ此權利ヲ行フコトヲ得ス何トナレハ買主ニ對シテ此權利ヲ行フコトヲ得トセハ其結果第三者ノ既得ノ權利ヲ害スルニ至ル可ケレハナリ從テ此場合ニ於テハ賣主ハ單ニ買主ノ普通ノ債權者トシテ權利ヲ有スルニ過キサルナリ夫レ然リ然ラハ此場合ニ於テハ第三者ノ善意ナルト將タ惡意ナルトニ依リテ區別アリヤト云フニ法文ハ何等ノ規定ヲ設ケサルヲ以テ之ヲ明言スルニ苦マサルヲ得サレトモ法律ノ精神ハ前ニ云ヘルカ如ク賣主ハ買主其人ヲ信用シテ賣買シタルモノニシテ物件ニ對シ何等ノ權利ヲモ留保シタルモノニ非サルヲ以テ見レハ第三者ノ善意ナルト惡意ナルトニ依リテ區別ナシト推論スルコトヲ得可シ

(二) 代價辨濟ニ付キテ期間ヲ與ヘタルモ未タ物件ノ引渡ヲ爲サル場合 此場合ニ於テハ賣主ノ解除訴權ハ完全ナルモノニシテ縱令買主之ヲ第三者ニ

賣買法 賣買ノ解除 義務ノ不履行ニ因ル解除



轉賣スルコトアルモ尙ホ賣主ハ第三者ニ對シテ解除訴權ヲ主張スルコトヲ得ルナリ抑モ買主ハ未タ物件ノ占有ヲ得スト雖モ所有權ハ之ヲ得ルヲ以テ他ニ之ヲ轉賣シ得ルハ勿論ナリ然レトモ其物件タルヤ未タ賣主ノ手ニ存在スルモノナルヲ以テ外形上ヨリ看レハ買主ハ之ヲ買得シタリヤ否ヤ知ルコトヲ得ス然ルニ第三者ニシテ賣買アリタルコトヲ知リタリトセハ其賣買ニ附從スル條件モ亦之ヲ知リタルモノト爲サ、ル可カラス既ニ其條件ヲモ知リタリトセハ賣主カ解除訴權ヲ有スルコトヲモ知ラサル可カラサルハ勿論ナリ是レ本場合ニ於テ賣主カ第三者ニ對シテ解除訴權ヲ行フコトヲ得ル所以ナリ

(三) 物件ハ引渡シタルモ代金ノ辨濟ニ付キ期間ヲ與ヘサル場合 此場合ニ於テハ賣主ハ引渡ヲ爲シタルトキヨリ八日內ニ賣買ヲ解除スルコトヲ得然レトモ善意ナル第三者ノ既得ノ權利ヲ害スルコトヲ得ス立法者ノ理由ヲ案スルニ此場合ニ於テハ賣主ハ別ニ代金ノ辨濟ニ付キテ期間ヲ與ヘタルモノニ非サレハ買主ヲ信用シテ賣買シタリト云フ可カラズ故ニ八日內ナレハ賣買

ヲ解除スルコトヲ得ト云フニ在リ然レトモ余ハ此規定ハ理由ナキモノト信ス此場合ハ第一ノ場合ト毫モ差異アルヲ見、何トナレハ未タ代金ヲ受取ラサルニ先ダテ物件ヲ引渡シタルモノナレハ賣主ハ買主ノ資力ヲ信用シタルモノト云ハサル可カラサレハナリ然ラハ此場合ト第一ノ場合トヲ區別スルハ誠ニ理由ナキモノト云フ可シ思フニ是レ佛國民法第二千二百二條ヲ摸倣シタルモノニ過キサル可シ

(四) 物件ノ引渡ヲ爲サス又代金ノ辨濟ニ付キテ期間ヲ與ヘサル場合 此場合ニ於テハ賣主ノ解除訴權ハ完全ナリ敢テ説明スルヲ要セス

## 第二章 受戻權能ノ行使ニ因ル解除 第一節 受戻權能ノ性質

受戻權能トハ賣買當時ニ於テ賣主カ買主ニ代價及ヒ其支拂ヒタル諸費用ヲ返還シテ賣買ヲ解除センコトヲ特約シタルトキニ生スル所ノ一種ノ權利ナリ即チ賣主ハ代金及ヒ諸入費ヲ返還シテ賣買ヲ解除スルヲ得ル所ノ權利ナリ英國法ニ於テハ受戻權能ニ付キテ特別ノ規定ヲ設ケサルヲ以テ同法律ニ於テハ普通合意ノ

受戻權能  
ノ行使ニ  
因ル解除  
ノ性質

賣買法 賣買ノ解除 受戻權能ノ行使ニ因ル解除 受戻權能ノ性質



規則ニ依リ此權能ニ關スル問題ヲ論斷セサル可カラズ然レトモ佛國及ヒ伊國ノ法律ニ於テハ特別ニ受戻權能ニ關スル規則ヲ設ケ普通合意ノ場合ト異ナリ大ニ制限ヲ附シタリ今受戻約款ニ關スル法律ノ沿革ヲ案スルニ遠ク羅馬ニ出テタリ古代羅馬法ニ於テハ利子付ノ金錢貸借ヲ禁シタリ是レ獨リ羅馬ノミナラス英國法ニ於テモ亦然リ然レトモ是レ實際ニ於テ大ニ不便ナルヲ以テ羅馬人民ハ名ヲ受戻約款ニ藉リテ利子付ノ貸借ノ實ヲ行ヒタリ裁判所モ亦利子付貸借ヲ禁スルヲ不當ト認メタルモノト見エ此法律ヲ免レシメンカ爲メニ假裝的ノ契約ヲ默認シテ是ニ効力ヲ附與シタリ然レトモ裁判所ハ單ニ法律ヲ免レシメンカ爲メニ假裝的ノ契約ヲ默認スルニ止マレハ其契約ニ付キテハ非常ナル制限ヲ附加シタリ其後利子付貸借ヲ禁スルノ法律ハ廢止セラレ代リテ利息制限法設ケラレタリ元來受戻約款ノ實行ハ利子付貸借ヲ禁スル法律ヲ免レントスルニ在レハ該法律ニシテ廢止セラル、トキハ最早受戻約款ナルモノヲ認ムルノ必要ナカル可キニ利息制限法設ケラレタルカ故ニ又同法ヲ免ル、ノ必要アルヲ以テ尙ホ依然トシテ實行セラレタリ今日我邦ニ於テ利息制限法ナルモノ存スルモ人民巧ニ之ヲ避ケ

殆ト徒法ニ歸セシムルノ觀アリ古今其時ヲ異ニスト雖モ情勢ハ同一ナリト謂フ可シ

斯ク受戻權能ハ遠ク羅馬法ニ出テ、今日ニ傳ハレルモノナリ我既成民法ハ尙ホ羅馬法ノ精神ヲ繼キテ受戻權能ヲ設定スル合意ニ付テハ大ニ制限ヲ設ケタリ今受戻權能ノ何ニタルヲ論スルニ付テハ先ツ權能ト權利トヲ區別セサル可カラズ蓋シ我既成民法ニ於テハ此二者ノ區別ヲ認メタレハナリ例ヘハ茲ニ土地ヲ所有スル者ハ其地上ニ家屋ヲ建築スルコトヲ得又田畑ヲ所有スル者ハ之ヲ耕作スルコトヲ得又ハ境畔ヲ改造スルコトヲ得可シ是レ所有者ノ權利ナリヤト云フニ普通ニハ之ヲ權利ナリト稱ス可キモ既成民法ニ於テハ之ヲ權能ナリト云ヘリ又例ヘハ貸與シタル金圓ノ返還ヲ請求スルカ如キ又ハ所有物ヲ占有スルカ如キハ權能ニ由ルニ非スシテ權利ニ由ルモノナリト云ヘリ然ラハ權利ト權能トノ區別何レニ存スルヤト釋スルニ之ヲ行使セスンハ當然損害ノ生スルモノ換言スレハ損害ヲ受クルコトナクシテ其行使ヲ止ムルコト能ハサルモノ之ヲ權利ト稱シ又之ヲ行使スルニハ相當ノ損給ヲ爲スヲ要スルモノ換言スレハ之ヲ行使セストモ當

買賣法 買賣ノ解除 受戻權能ノ行使ニ因ル解除 受戻權能ノ性質



然損害ヲ來タスト云フヲ得サルモノ之ヲ權能ト稱ス例ヘハ茲ニ土地アリ之ヲ耕作シ又ハ之ニ建築セストモ必スシモ損害アルニ非ス又ハ之ヲ耕作シ又ハ建築スルモ必スシモ利益アルニ非ス是レ權能ナリ之ニ反シテ貸與シタル金錢ヲ請求セスノハ爲メニ損害ヲ蒙ル可シ是レ權利ナリ故ニ權利ハ直接ニ損害ヲ生スルニ非サレハ其行使ヲ止ムルコトヲ得サルモノニシテ權能ハ之ヲ行使スルモ必スシモ利益ナリト云フ可カラス其利益ナリヤ將タ有益ナリヤハ一ニ之ヲ行使スルモノ、判斷ニ任セサル可カラス權利ト權能トノ區別ハ概ネ以上述フル所ノ如シ去レハ夫ノ賣買法ニ所謂受戻權能擔保編ニ所謂質物ノ受戻權又ハ既ニ賣渡シタル物ノ買戻權ノ如キハ我既成民法ニ於テハ權能ニシテ正格ニ權利ト稱ス可キモノニ非ス又夫ノ吾人カ自由ニ營業ヲ爲スノ權ノ如キモ亦權能ナリト云ハサル可カラス然レトモ權利ノ意義ヲ廣濶ニ解釋スルトキハ權能モ亦權利ノ一部ナリ其性質ヨリ論スレハ權利ト權能トノ間ニ區別アルコトナシ

受戻權ヲ行使スレハ賣買ノ解除ヲ來タスヲ以テ受戻約款付賣買ハ解除條件付ノ賣買ナリ從テ前キニ論述シタル再賣買契約トハ其性質ト効力トニ於テ大ニ差異

受戻約款  
ノ制限

アリ再賣買ノ契約ハ當初賣買シタル物ヲ買主ヨリ更ニ賣主ニ賣渡サントノ約束ナレハ當事者ノ權利關係ハ後チニ賣渡ヲ爲シタルトキヨリ定マルモノナリ之ニ反シテ受戻約款付ノ賣買ハ當初ノ賣買ヲ消滅セシメテ賣買以前ノ地位ニ回復セシムルモノナレハ買主カ目的物ニ付キ爲シタル所ノ諸般ノ行爲ハ既往ニ溯リテ無効トナラサルヲ得ス從テ買主ハ收益ヲ取得シタルトキハ賣主ニ對シテ之カ計算ヲ爲サ、ル可カラス今日我邦ニ實際行ハル、受戻契約ナルモノハ通例ノ再賣買ノ契約ニシテ既成民法ニ所謂受戻約款付ノ賣買ニ非サルナリ

第二節 受戻約款ノ制限

(第一) 受戻約款ハ之ヲ賣買證書ニ明記スルコトヲ必要トス即チ受戻約款ハ書面契約ナリ若シ別證書ニ之ヲ認ムルカ又ハ賣買後ニ取結ヒタル受戻約款ハ受戻約款トシテ其効ナシ單ニ再賣買ノ豫約タルニ過キス之ヲ要スルニ受戻約款ハ賣買ノ條件ヲ成スモノナレハ必スヤ賣買ト同時ニ賣買證書ニ明記セサル可カラズ

(第二) 受戻約款ノ期限ハ不動産ニ付テハ五年動産ニ付テハ三年ヲ超過スルコト

賣買法 賣買ノ解除 受戻權能ノ行使ニ因ル解除 受戻約款ノ制限



ヲ得ス若シ此期限ヲ超過スル所ノ期限ヲ約シタルトキハ當然五年又ハ三年ニ短縮スルモノトス而シテ一旦期限ヲ定メタル以上ハ右ニ述ヘタル制限内ナリト雖モ更ニ之ヲ伸長スルコトヲ得サルモノトス例ヘハ最初不動産ニ付キテ三年ヲ約束シタルトキハ後ニ至リ之ヲ五年ニ伸張スルコトヲ得サルカ如シ然レトモ其伸長ハ再賣買ノ豫約ノ期限ト看ルコトヲ得ルナリ何故ニ法律ハ斯ノ如キ期限ヲ制限シタリヤト云フニ元來受戻權能ノ行使ハ一ニハ財産ノ運轉ヲ阻害スルモノニシテ從テ經濟上ノ不利益ヲ來スコトアリ一ニハ受戻權能ヲ行使スルトキハ賣買契約ヲ解除シテ其物ニ關スル一切ノ行爲ハ無効ニ歸セサルヲ得サルヲ以テ第三者ト雖モ亦此結果ヲ受ケサル可カラサルコトアリ依テ社會一般ノ經濟上ノ不利益ヲ豫防シ且ツ第三者ノ權利ヲ保護センカ爲メニ斯ノ如キ制限ヲ設ケタルナリ

(第三) 賣主カ代金ノ半額以上ヲ辨濟ニ付キテ受戻期間ノ半以上ニ渡ル猶豫ノ期間ヲ與ヘタルトキハ受戻權能ヲ約束スルコトヲ得ス例ヘハ此學校ヲ金一萬圓ニテ賣渡サンコトヲ約シ且ツ其代金ノ内六千圓ヲ辨濟ニ付キテハ三年間ノ猶豫ヲ與フルコトヲ約シタルトキハ其約束ハ無効ナルカ如シ其故如何ト云フニ

元來法律カ賣主ニ對シテ特別ナル權ヲ受戻權能ヲ與ヘタルハ必竟必迫シタル金圓ヲ需用ヲ充テサシメシテ爲メナリ更ニ賣主ヨリ立言スレハ賣主ハ必スシモ此學校ヲ賣渡サンコトヲ欲スルモノニ非ス只急迫ナル金圓ノ需用ニ迫マラレテ止ムヲ得ス學校ヲ賣渡サントスルモノナレハ法律ハ特ニ賣主ニ受戻權能ナルモノヲ與ヘテ之ヲ保護セントスルニ在リ然ルニ代金ノ半以上ト云フカ如キ大部分ニ付キ受戻期間ノ半以上ニ渡ルカ如キ永キ期間猶豫ヲ與フルカ如キハ賣主ニ於テ必迫シタル金圓ノ需用アリト謂フ可カラス既ニ必迫シタル金圓ノ需用ナキ以上ハ社會ノ經濟上有害ナル受戻權能ヲ賣主ニ與フルノ必要ナキヤ言テ俟タス是レ立法者カ右ノ如キ制限ヲ設ケタル所以ナリ加之此制限ノ理由ハ更ニ受戻權能ノ沿革ニ依テ説明スルコトヲ得可シ前ニ述ヘタル如ク裁判所カ受戻權能ヲ認メタルハ有利貸借ヲ禁スルノ法律ヲ免カレシメントスルノ精神ニ出テタリ然ルニ賣買代金ノ支拂ニ付キテ猶豫ヲ與フル以上ハ有利貸借ニ關係アルコトナシ從テ裁判所ニ於テハ斯ル約款ニマテ効力ヲ與フルノ必

賣買法 賣買ノ解除 受戻權能ノ行使ニ因ル解除 受戻權能行使ノ効果



要ナキヤ素ヨリ論ナシ裁判所ハ單ニ有利貸借ヲ禁止スル法律ヲ免ル、目的ニ於テノミ保護ヲ與ヘタルナリ之ヲ要スルニ立法ノ精神并ニ古來ノ沿革ニ徴スルモ右ノ如キ約束ハ之ヲ取結フコトヲ得ス好シ之ヲ取結フトモ何等ノ効力ナキノ理由太甚分明ナリ

### 第三節 受戻權能行使ノ効果

受戻權能ノ行使ハ賣買ノ解除ヲ來タシ賣買ハ最初ヨリ成立セサルカ如ク賣買成立以前ノ原狀ニ回復スルモノナリ是ヲ以テ賣買契約ノトキト受戻權能行使ノトキトノ間ニ買主及ヒ其他第三者ノ爲シタル行爲ハ凡テ無効ニ屬シ賣主ノ爲シタル行爲ノミハ依然トシテ有効ニ存スルモノトス然レトモ此効果ニ付テハ動産ト不動産トノ間ニ差異アルヲ以テ此二者ヲ區別シテ論スルコトヲ必要トス因テ余ハ左ニ之ヲ分論セム

(第一) 不動産 不動産ノ賣買ニ於テハ賣買證書ヲ登記スルノ制アリ而シテ登記ハ公示方法ナルヲ以テ一タヒ賣買ノ登記アリタルトキハ何人モ之ヲ知ラズト云フコトヲ得ス好シ實際之ヲ知ラサルニモセヨ其不知ハ其人ノ過失ニシテ自

受戻權能行使ノ効果

ラ責ヲ負フノ外ナシ故ニ登記シタル受戻約款ヲ實行シテ賣買ノ解除ヲ爲シタルトキハ賣渡物ニ付キテ第三者ノ取得シタル權利ハ凡テ無効ニ歸シ賣主ハ完全ナル所有權ヲ回復ス何トナレハ第三者ハ解除條件付ハ權利ヲ得ルニ過キサルヲ以テ其條件ニシテ到來シタルトキハ其物權ハ當然無効ニ屬ス可ク且ツ解除ハ賣買成立以前ノ狀況ニ回復スルモノナレハ賣主ノ完全ハ所有權ヲ回復スルハ當然ノ理ナレハナリ然レトモ此原則ニ對シテハ一ハ例外アリ他ナラス受戻權能行使ノトキニ殘期一ケ年ヲ超ヘサル賃借權ヲ設定シタル場合はナリ何故ニ此賃借權ハ消滅セサルヤ思フニ我既成民法ノ精神ハ短期ノ賃借權設定ノ如キハ財産ノ管理行爲ニ屬スルモノニシテ必スシモ所有者ニ非サレハ之ヲ行フヲ得スト云フモノニ非ス加之賃借權ヲ設定スルカ如キハ生産的經濟上必要ナルヲ以テノ故ナラン

(第二) 動産 動産ヲ目的トスル賣買ニ於テハ登記ノ如キ公示方法ナシ占有ヲ以テ所有權ノ公示方法ト爲セリ是ヲ以テ善意ニテ動産ヲ取得シタル第三者ニ對シテハ受戻權能ヲ行使スルコトヲ得ス然レトモ其權能アルコトヲ知リツ、取

賣買法 賣買ノ解除 受戻權能ノ行使ニ因ル解除 受戻權能ヲ行使シ得キ人 二四九



得シタル第三者ニ對シテ行使スルコトヲ得可キハ勿論ナリ

### 第四節 受戻權能ヲ行使シ得可キ人

抑モ受戻權能ナルモノハ賣主ノ一身ニ專屬シ他人カ之ヲ代行シ得ルモノニ非ス  
 是レ蓋シ獨リ受戻權能ノミニ限ルニ非ス權能ノ性質トシテ然ル可キモノナリ然  
 レトモ賣主ニシテ此權能ヲ行使セサルトキハ賣主ノ債權者ハ爲メニ損害ヲ蒙ム  
 ルコトアラノ是ヲ以テ法律ハ特ニ賣主ノ債權者ヲシテ賣主ニ代リテ此權能ヲ行  
 フコトヲ得セシメタリ但シ是レ債權者ヲシテ損害ヲ免カレシメントスルニ過キ  
 サレハ債權者カ之ヲ行フニハ制限ヲ附シタリ然ラハ如何ナル制限ナルヤト云フ  
 ニ買主ハ其債權者ヲシテ豫メ其債務者即チ賣主カ無資力ナルコトヲ證明セシメ  
 且ツ裁判上ニテ賣主ニ代位スルコトヲ要求スルコトヲ得ルノミナラス買主ハ自  
 ラ先買權ヲ有スルモノトセリ即チ鑑定人ヲシテ買受ケタル物ノ現時ノ價格ヲ評  
 價セシメ其評價ノ代金ヨリ買受ケタル代金ヲ差引キテ其殘額ヲ債權者ニ辨濟シ  
 テ賣主ノ此權能ノ行使ヲ止ムルコトヲ得ヘシ是レ取得編第八十六條ノ規定スル  
 所ナリ

受戻權能  
ヲ行使シ  
得可キ人

賣主カ受戻約款ヲ以テ賣渡シタル物ノ止ニ支分權ヲ設定シタルトキ例ヘハ之ヲ  
 抵當トナシ又ハ賃貸スルカ如キトキハ其設定シタル權利ハ賣主若クハ債權者カ  
 受戻權能ヲ行ヒタルトキニ於テ初メテ其効ヲ生スルモノナリ換言スレハ其權利  
 ノ取得者ハ單ニ停止條件付ノ支分權ヲ取得シタルニ過キサレハ賣買カ解除セラ  
 レテ始メテ完全ナル權利ヲ取得ス從テ此權利ヲ取得シタルモノハ自己ノ名義ヲ  
 以テスルハ勿論賣主ニ代リテモ尙ホ受戻權能ヲ行使スルコトヲ得ス但シ抵當債  
 權者ハ普通ノ債權者トシテ賣主ニ代リテ受戻權能ヲ行使スルコトヲ得是レ取得  
 編第八十七條第一項ノ規定スル所ナリ

賣主カ受戻ニ服スル物即チ解除ノ行ハル可キ所有權ヲ讓渡シタルトキハ讓受人  
 ハ自己ノ名義ヲ以テ受戻權能ヲ行使スルコトヲ得然レトモ讓受ケタル前ニ既ニ  
 公示方法ニ依リテ設定シタル他ノ特權ニ妨害ヲ與フルコトヲ得ス是レ取得編第  
 八十七條第二項ノ規定スル所ナリ

### 第五節 受戻權能ヲ行使スルニ付キ辨濟ス可キ

#### 費目

受戻權能  
ヲ行使ス  
ルニ付キ  
辨濟ス可  
キ費目

賣買法 賣買ノ解除 受戻權能ノ行使ニ因ル解除 受戻權能ヲ行使スルニ  
 付キ辨濟ス可キ費目



賣主カ受戻權能ヲ行フニ付キテハ必スヤ左ニ記載スル所ノ費目ヲ辨濟セサル可カラズ即チ

(第一) 賣買代價及ヒ契約費用

(第二) 保存費用

(第三) 改良費用

是ナリ抑モ受戻權能ヲ行使スルトキハ賣買ハ解除セラレテ賣買成立以前ノ原狀ニ回復スルモノナレハ賣主ハ賣買代價及ヒ契約費用ヲ辨濟ス可キハ勿倫保存費用ハ其物ヲ保存スル爲メニ必要ナルモノ又改良費用ハ物ノ價額ヲ増加スル所ノ有益ナル費用ナレハ賣主カ之ヲ辨濟ス可キハ當然ナリ若シ買主ナシテ是等ノ費用ヲ負擔セシメン乎賣主ハ不當ノ利益ヲ取得スルコト、ナル可シ而シテ第一及ヒ第二ノ費用ハ必ス受戻ノ期日ニ於テ之ヲ辨濟セサル可カラズ若シ其辨濟チ欠ルトキハ賣主ハ受戻權能ヲ失フ可シ然レトモ第三ノ費用ハ第一第二ノ費用ト異ナリ必スシモ必要ニシテ欠ク可カラサルモノニ非ス又賣主ノ利益ヨリモ寧ロ買主自身ノ利益ニ着眼シタル費用ナリ加之買主ハ果シテ幾何ノ金額ヲ是ニ費シダリヤ

共有物ニ於ケル受戻權能ノ行使

容易ニ知ル可カラズ故ニ若シ此費用ヲ受戻權能ノ執行ト同時ニ支拂フ可キモノトセハ賣主ハ爲メニ期間ヲ失シ賣買ヲ解除スルコトヲ得サルニ至ルコトアラン是ヲ以テ法律ハ此第三ノ費用ノ辨濟ニ付キテハ裁判所ハ賣主ニ猶豫ヲ許スヲ得ルモノトシ必スシモ受戻權能ノ行使ト同時ナルヲ要セサルモノトセリ然レトモ買主ハ第一第二第三ノ費用ヲ悉皆領取スルマテ目的物ヲ留置スルコトヲ得次ニ奢靡ノ費用ニ至リテハ必竟買主自身ノ利益ニ外ナラサレハ賣主之ヲ負擔スルノ義務ナシ又代金ノ利子ハ目的物ノ收益ト當然相殺ス可キモノナレハ賣主之ヲ支拂フノ義務ナシ(第八十八條)

第六節 共有物ニ於ケル受戻權能ノ行使

共有物ハ財産編ニ規定セル如ク其共有者ハ何時ニテモ分割處分ノ請求ヲ爲スコトヲ得若シ其現物ヲ分割スルコトヲ拒ム者アルトキハ之ヲ競賣シテ其代金ヲ分割ス可キモノトス而シテ不動産ノ共有者ノ一人カ其不分ノ部分ヲ受戻約款ヲ以テ賣買シタル場合ニ於テハ買主カ他ノ共有者ヨリ競賣ヲ促サレタル場合ト自ラ競賣ヲ促シタル場合トニ由テ受戻權能ヲ行使スル上ニ付キ少シシ差異アリ

賣買法

賣買ノ解除

受戻權能ノ行使ニ因ル解除

共有物ニ於ケル受戻權能ノ行使



(第一) 買主カ他ノ共有者ヨリ競賣ヲ促サレ而シテ競落人トナリタルトキハ賣主ハ第一第二第三ノ費用ノ外ニ尙ホ競賣代金ヲ加ヘテ其不動産ノ全部ニ對スルニ非サレハ受戻權能ヲ行使スルコトヲ得ス其故ハ買主ハ他ノ共有者ヨリ促サレテ競落ヲ爲シタルモノナレハ其競落ノ費用ハ要スルニ目的物ヲ保存スル費用ニ外ナラス少クモ其精神ニ於テ保存費用ト同一ナリ故ニ賣主ハ競落代金ヲモ併セテ之ヲ負擔セサル可カラス(第八十九條第一項)

(第二) 買主自ラ競賣ヲ促シ而シテ競落人トナリタルトキハ自ラ好ンテ競賣ヲ爲シタルニ外ナラス從テ物ヲ保存スルヨリ生シタルモノニ非スシテ寧ロ奢靡ノ費用ニ類似セリ故ニ此場合ニ於テハ賣主ハ普通ノ場合ニ於ケルト同シク受戻權能ヲ行使スルコトヲ得ス(第八十九條第二項)

右ニ述ヘタル所ハ買主自ラ競落人トナリタル場合ナリ今賣主以外ノ共有者ノ一人又ハ第三者カ競落シタル場合ニハ賣主カ競落ニ立會ヒタル場合ト其然カラサル場合トニ依テ區別アリ

(第一) 賣主カ競落ニ立會ヒタルトキハ其競落タル賣主ノ認諾ニ出テタルモノト

見做サル、ヲ以テ賣主ハ受戻權能ノ行使ヲ拋棄シタルモノト看做サル、ナリ又目的物カ公用徵收法ニ由リテ第三者ノ手ニ歸シタルトキモ是ト同シ(第九十條)

(第二) 賣主カ競落ニ立會ハサルトキハ其競落タル賣主ニ對シテ何等ノ効果ナシ從テ賣主ハ宛モ競賣ナカリシ場合ト同シク競落人ニ對シテ受戻權能ヲ行使スルコトヲ得(第九十條)

次ニ現物ヲ分割スル場合ニ於テハ賣主カ分割ノトキニ召喚セラレタル場合ト召喚セラレサル場合トニ由リ區別アリ

(第一) 賣主カ分割ノトキニ召喚セラレサルトキハ其分割ハ賣主ニ對シテ効力ナキヲ以テ賣主ハ是ニ異議ヲ唱ヘ受戻權能ヲ執行スルコトヲ得且ツ之ヲ執行シタル以上ハ再分割ヲ請求スルコトヲ得(第九十一條第二項)

(第二) 賣主カ分割ニ召喚セラレタルトキハ其分割ハ賣主ノ認諾ニ出テタルモノト認ムルヲ以テ賣主ハ之ニ對シテ異議ヲ唱フルコトヲ得ス只其分割ニ由リテ買主ニ歸シタル部分ニ對シテ受戻權能ヲ主張スルコトヲ得ルノミ(第九十一條)



## 第一項

次ニ數人ノ共有者カ受戻約款ヲ以テ賣買シタル場合即チ賣主數人アル場合ニハ唯一ノ契約及ヒ唯一ノ代價ヲ以テ賣買シタルトキト多クノ契約ヲ以テ各自ノ部分ヲ賣買シタルトキトニ因リ區別アリ

(第一) 唯一ノ契約及ヒ唯一ノ代價ヲ以テ賣買シタルトキハ賣買上ノ關係ハ單獨ナル賣主ト買主トノ關係ト異ナル所ナシ故ニ賣主カ受戻權ヲ行フニハ尙ホ一括シテ爲スコトヲ得(第九十二條)

(第二) 多クノ契約ヲ以テ各自ノ部分ヲ賣渡シタルトキハ契約ハ個々別々ニ存在スルヲ以テ受戻權能ヲ行フニモ亦個々別々ニ爲サ、ル可カラス(第九十二條) 最後ニ數人ノ買主ニ一個ノ財産ヲ賣却シタル場合ニハ買主ノ間ニ於テ已ニ分割處分ヲ爲シタル場合ト未タ分割處分ヲ爲サ、ル場合トニ由リ區別アリ

(第一) 買主ノ間ニ未タ分割處分ヲ爲サ、ルトキハ賣主ハ總買主ニ對シテ全部ニ付キテ受戻權ヲ行フモ又ハ一人又ハ數人ニ對シテ其各自ノ部分ニ付キテ受戻權ヲ行フモ一ニ其自由ノ選擇ニ在ル所ナリ

(第二) 買主ノ間ニ既ニ分割處分ヲ爲シタルトキハ賣主ハ最早總買主ニ對シテ受戻權ヲ請求スルコトヲ得ス必スヤ各買主ニ對シ其所有ニ歸シタル部分ニ非サレハ受戻權能ヲ行使スルコトヲ得ス

## 賣買法(完結)

賣買法

賣買ノ解除

受戻權能ノ行使ニ因ル解除

共有物ニ於ケル受戻權能ノ行使

二五七



